

別紙1-2-2-3-2

系統として機能、性能を達成する設備

(再処理設備本体 分離施設 分配設備)

1. 概要
2. 要求される機能、性能と主流路の考え方
 - (1) 要求される機能、性能について
 - (2) 分配設備に係る主流路の考え方
 - (3) 主配管名称の設定の考え方
 - (4) 留意事項
3. 要求される耐震クラスの考え方
4. 抽出結果

添付1：別紙2 機能要求②抜粋（分配設備）

- (1) 第10条：閉じ込めの機能
- (2) 第11条：第35条：火災等による損傷の防止
- (3) 第24条：廃棄施設
- (4) 第39条：冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処するための設備
- (5) 第40条：放射線分解により発生する水素による爆発に対処するための設備

添付2：申請対象設備リスト（分配設備）

添付3：申請対象設備抽出結果（分配設備）

- (1) 分配設備

1. 概要

本資料は、共通09 補足説明資料 別紙「各条における申請対象設備」にて整理した系統として機能、性能を達成する設備について、設計図書等に対して色塗りを行い、安全機能に関する対象範囲や対象機器を抽出したものを示すものである。

2. 要求される機能、性能と主流路の考え方

(1) 要求される機能、性能について

再処理設備本体 分離施設 分配設備（以下、「分配設備」という。）に要求される機能、性能のうち、系統として達成する機能、性能は、以下のとおりであり、要求される機能、性能を踏まえて、分配設備の設計図書等の系統図を色塗りし、機能が要求される対象範囲や対象機器を抽出する。

分配設備に係る機能要求②が要求される条文の「別紙2 抜粋版」を「添付1」及び「別紙1-1-40（共通09 別紙2 一覧）」に示す。

a. 設計基準対象の施設に係る機能、性能

(a) 第10条：閉じ込めの機能

- i. 【放射性物質の保持機能】
- ii. 【セル等の漏えい拡大防止及び漏えい液回収】
- iii. 【室等の漏えい拡大防止】
- iv. 【放射性物質を保持する系統の負圧維持】
- v. 【設計基準事故時における閉じ込め機能】※

※「v. 【設計基準事故時における閉じ込め機能】」は、「(a) 第10条：閉じ込めの機能 iv. 【放射性物質を保持する系統の負圧維持】」に含む。

(b) 第11条・第35条：火災等による損傷の防止

- i. 【Pu溶液又はHAW溶液を保有する貯槽の水素掃気】

(c) 第24条：廃棄施設

- i. 【放射性気体廃棄物の処理及び排気】※

※「i. 【放射性気体廃棄物の処理及び排気】」は、「(a) 第10条：閉じ込めの機能 iv. 【放射性物質を保持する系統の負圧維持】」に含む。

- b. 重大事故等対処設備に係る機能、性能
 - (a) 第39条：冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処するための設備
 - i. 【貯槽等への注水】

 - (b) 第40条：放射線分解により発生する水素による爆発に対処するための設備
 - i. 【水素爆発を未然に防止するための空気供給】
 - ii. 【水素爆発の再発を防止するための空気供給】
 - iii. 【セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応
(管理放出：水素爆発)】

(2) 分配設備に係る主流路の考え方

基本設計方針の要求を踏まえ、分配設備に係る主流路を設定する。

分配設備に係る機能、性能について、「2. (1) 要求される機能、性能について」に示した「a. 設計基準対象の施設に係る機能、性能」、「b. 重大事故等対処設備に係る機能、性能」の系統機能毎に事業変更許可申請書における系統概要図等を用いて機能全体に係る系統構成及び主流路となる範囲を示す。

分配設備に係る機能、性能及び主流路の特定にあたっては、機能、性能及び主流路の基本となる「第10条：閉じ込めの機能」に着目してその範囲を特定した上で、当該設備に関連する「第11条・第35条：火災等による損傷の防止」、「第24条：廃棄施設」、

「第39条：冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処するための設備」及び「第40条：放射線分解により発生する水素による爆発に対処するための設備」に関する範囲を特定する。

a. 設計基準対象の施設に係る機能、性能

(a) 第10条：閉じ込めの機能

i. 【放射性物質の保持機能】

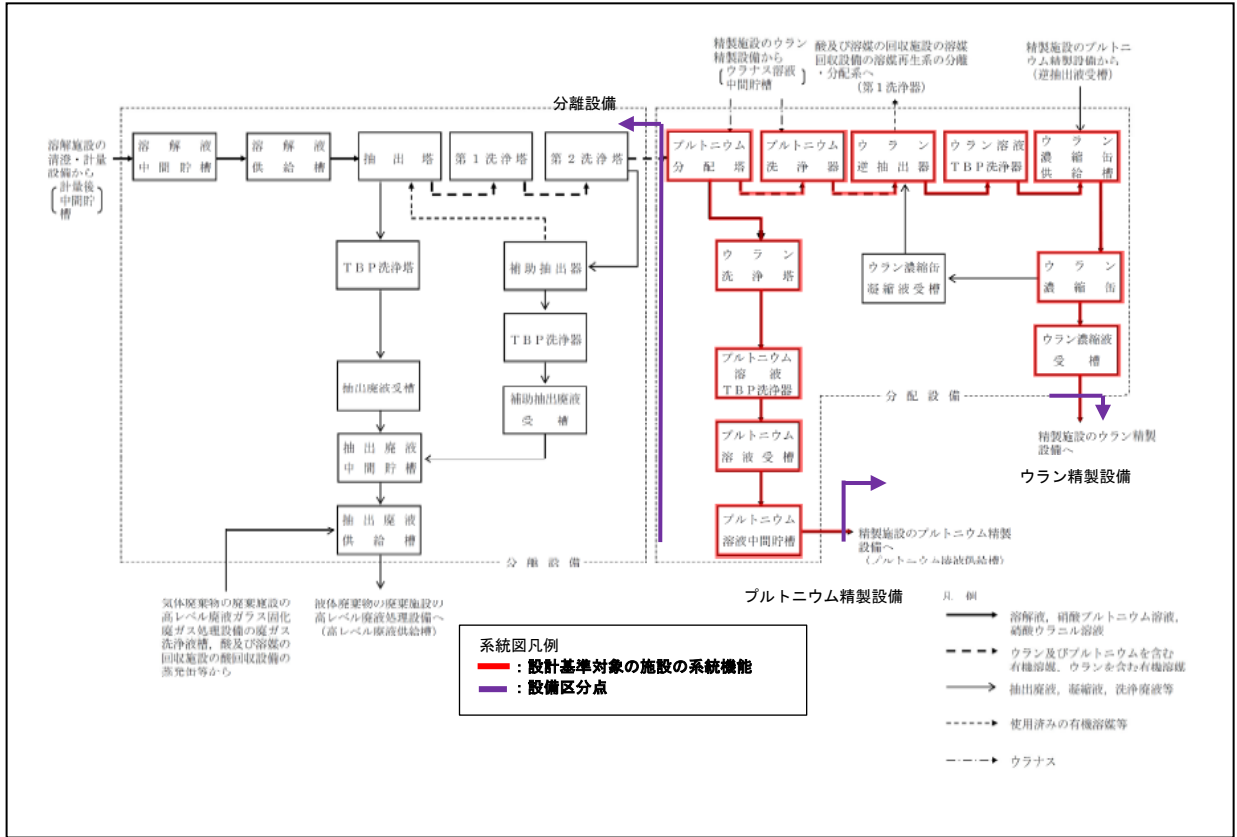
分配設備は、再処理設備本体 分離施設 分離設備（以下、「分離設備」という。）の第2洗浄器からプルトニウム分配塔に受け入れたプルトニウム及びウランを含む溶液を、プルトニウム分配塔でプルトニウム及びウランを含む溶液に相互に分配し、分配されたウラン溶液は、プルトニウム洗浄器、ウラン逆抽出器、ウラン溶液T B P洗浄器、ウラン濃縮缶供給槽、ウラン濃縮缶及びウラン濃縮液受槽にて洗浄および濃縮操作を行い、ウラン精製設備へ移送する。

プルトニウム分配塔で分配されたプルトニウム溶液は、ウラン洗浄塔、プルトニウム溶液T B P洗浄器、プルトニウム溶液受槽及びプルトニウム溶液中間貯槽にて、洗浄操作を行い、プルトニウム精製設備へ移送する。

分配設備では放射性物質としてプルトニウムを含む溶液、ウランを含む溶液を取り扱う系統を主流路として設定する。以下に主流路の範囲を示す。（第2-1図参照）

- プルトニウム分配塔、プルトニウム洗浄器、ウラン逆抽出器、ウラン溶液T B P洗浄器、ウラン濃縮缶供給槽、ウラン濃縮缶及びウラン濃縮液受槽並びにプルトニウム分配塔からウラン精製設備まで各機器をつなぐ配管
- ウラン洗浄塔、プルトニウム溶液T B P洗浄器、プルトニウム溶液受槽及びプルトニウム溶液中間貯槽並びにプルトニウム分配塔からプルトニウム精製設備まで各機器をつなぐ配管
- 主流路上の機器及び配管に接続される通常時にプルトニウムを含む溶液等が液浸する【放射性物質の保持機能】を有する配管

主配管の具体的な範囲は「2.（3）主配管名称の設定の考え方」の「（a）第10条：閉じ込めの機能 i. 【放射性物質の保持機能】」に示す。



第 2 - 1 図 分配設備 系統概要図
(事業変更申請書 添付書類六 第4.4-1 図抜粋)

ii. 【セル等の漏えい拡大防止及び漏えい液回収】

プルトニウムを含む溶液を保有する系統の配管からの漏えいであって、漏えいした溶液を放置した場合に沸騰するおそれがある場合には、漏えい液受皿により漏えいした溶液を保持するとともに、計測制御系統施設 計測制御設備（以下、「計測制御設備」という。）の漏えい検知装置（「別紙1-3 計測制御設備」で抽出）で漏えいを検知し、その他再処理設備の附属施設 蒸気供給設備 安全蒸気系（以下、「安全蒸気系」という。）（「別紙1-2-5-5 安全蒸気系」で抽出）から供給される蒸気により駆動する漏えい液回収ポンプにより、漏えいした溶液を回収する。

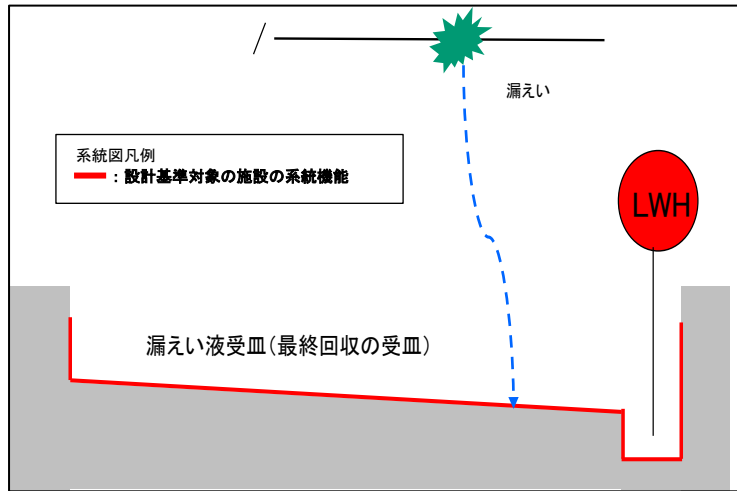
【セル等の漏えい拡大防止及び漏えい液回収】に関する機能の系統構成と主流路を設定する範囲は、「別紙1-2-5-5 安全蒸気系」に示す。

計測制御設備に関する機能、性能については「別紙1-3」に示す。

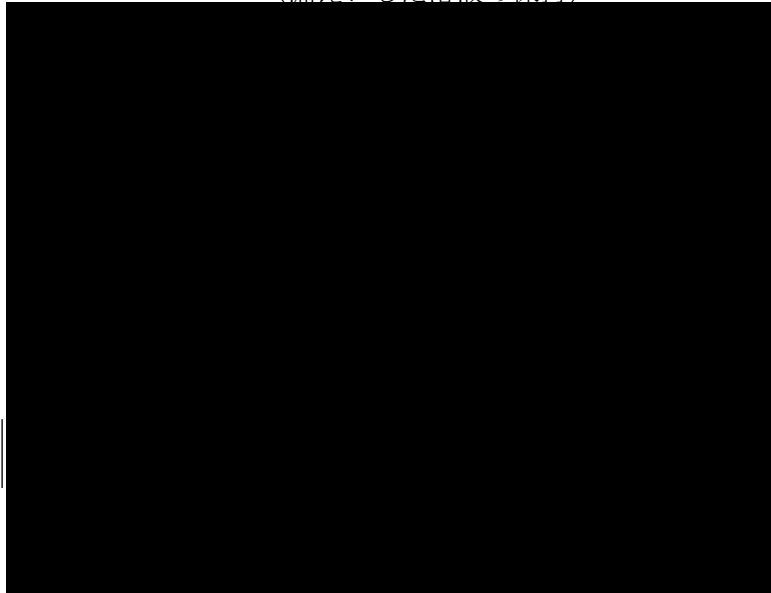
【セル等の漏えい拡大防止及び漏えい液回収】に係る分配設備の範囲は、以下のとおり。（第2-2図から第2-4図参照）

- ・漏えい液受皿
- ・重力流で他の漏えい液受皿に回収する配管
- ・漏えい液回収ポンプ、漏えい液を回収するために必要な配管（移送経路上の機器を含む）
- ・蒸気により駆動する漏えい液回収ポンプへ蒸気を供給する配管

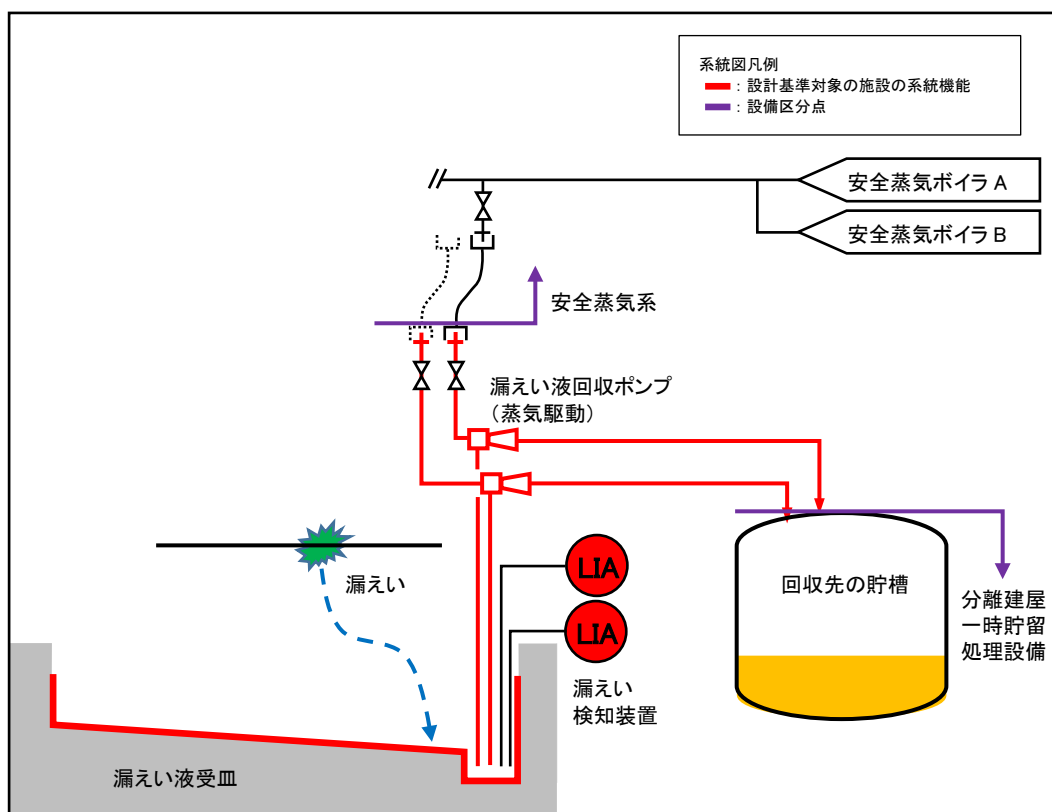
主配管の具体的な範囲は「2.（3）主配管名称の設定の考え方」の「（a）第10条：閉じ込めの機能 ii. 【セル等の漏えい拡大防止及び漏えい液回収】」に示す。



第2-2図 漏えいした溶液（プルトニウムを含む溶液）の保持
 （漏えいした溶液の保持）



第2-3図 漏えいした溶液（プルトニウムを含む溶液）の保持
 （重力流による回収）



第 2 - 4 図 沸騰のおそれのあるプルトニウムを含む溶液の回収

iii. 【室等の漏えい拡大防止】

ウラン溶液、洗浄廃液及び低レベル廃液（以下、「低レベル廃液等」という。）を保有する系統の配管から漏えいが発生した場合には、漏えい液受皿により漏えいした溶液を保持（重力流で他の漏えい液受皿に回収する配管を含む）し、計測制御設備の漏えい検知装置（「別紙 1-3 計測制御設備」で抽出）で漏えいを検知する。

低レベル廃液等の漏えいした溶液は、漏えいした溶液を回収せずに保持した状態であっても、沸騰するおそれがなく公衆への影響が拡大することがないため、漏えいした溶液の保持に必要な漏えい液受皿を主流路として設定する。

（第 2－5 図参照）

また、重力流で他の漏えい液受皿又は回収先貯槽に回収する配管も主流路として設定する。

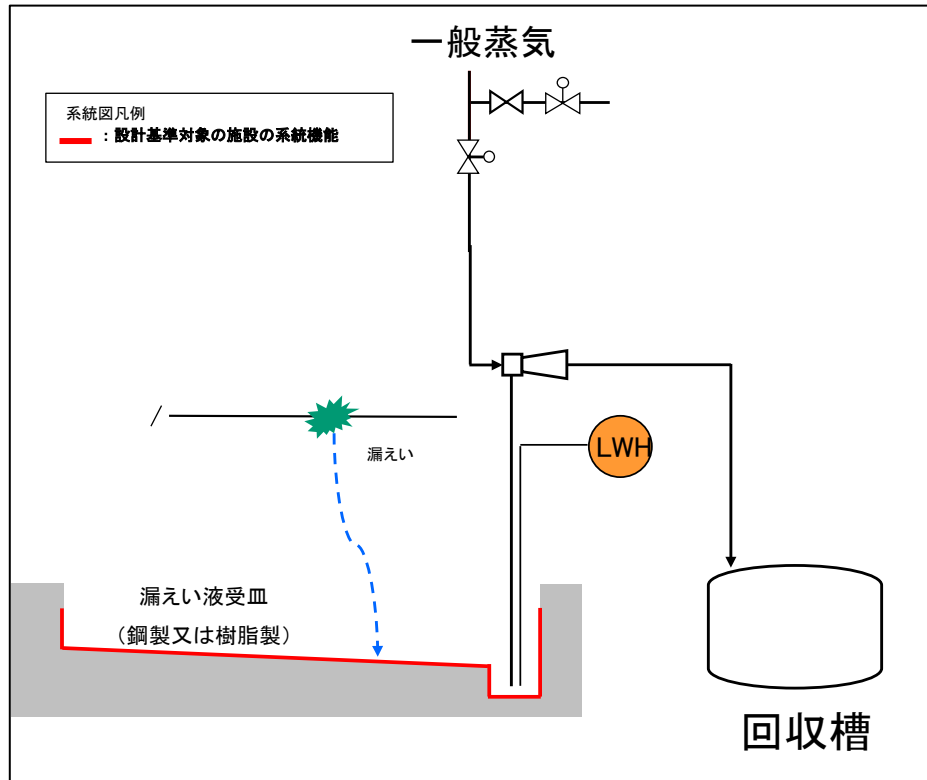
（第 2－6 図及び第 2－7 図参照）

計測制御設備に関する機能、性能については、「別紙1-3」に示す。

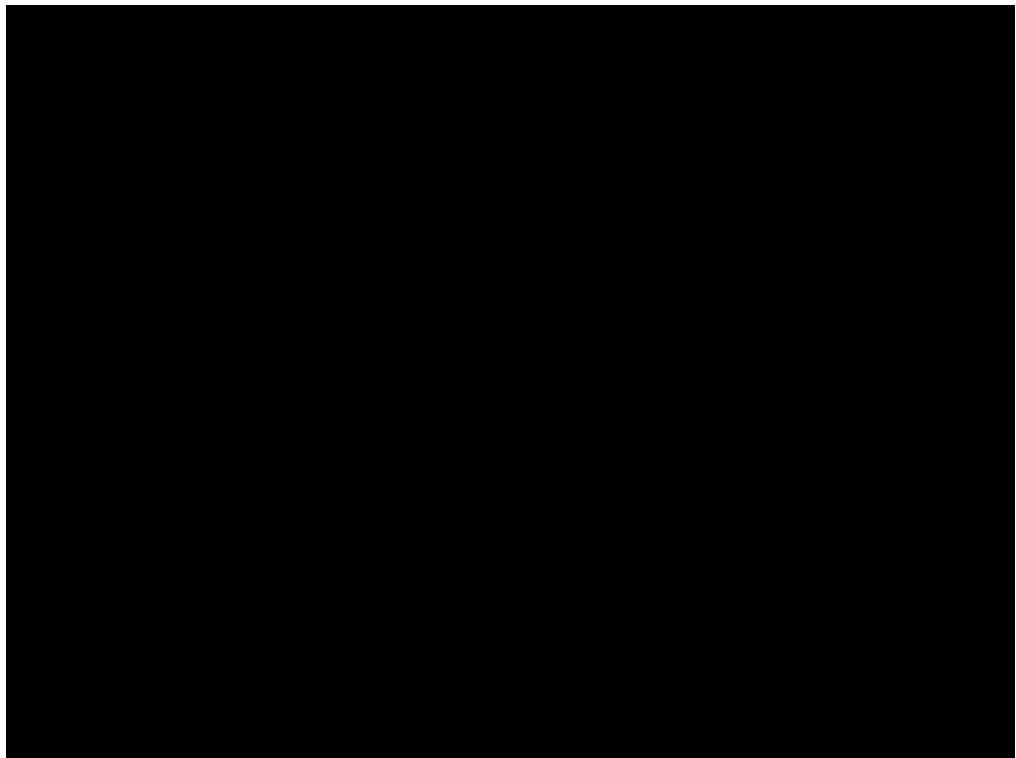
【室等の漏えい拡大防止】に係る分配設備の範囲は、以下のとおり。

- ・漏えい液受皿
- ・重力流で他の漏えい液受皿に回収する配管

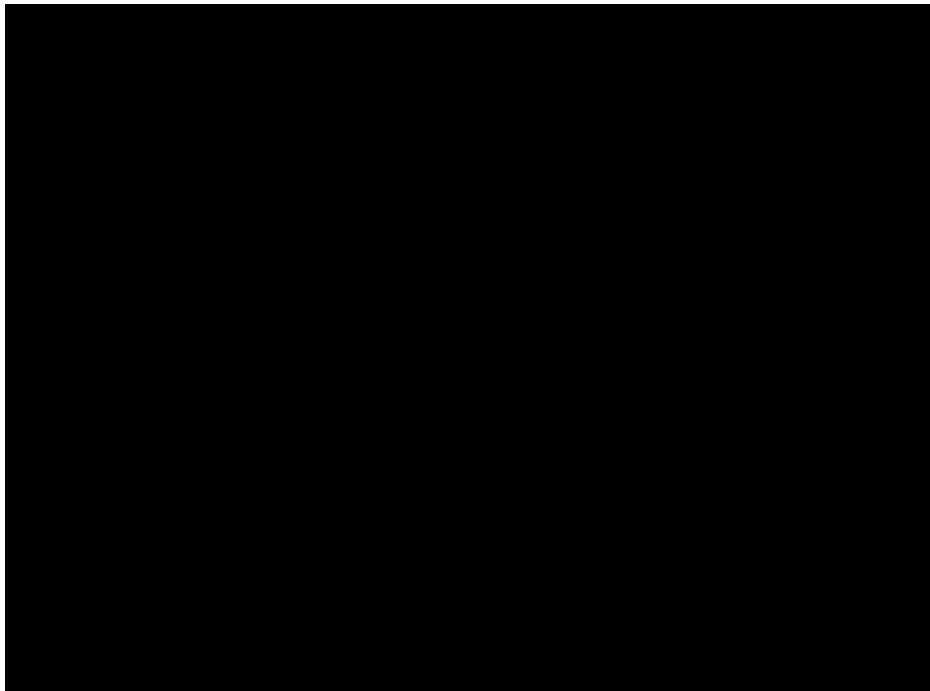
主配管の具体的な範囲は「2. （3）主配管名称の設定の考え方」の「(a) 第10条：閉じ込めの機能 iii. 【室等の漏えい拡大防止】」に示す。



第2-5図 低レベル廃液等の漏えい液の保持（漏えいした溶液の保持）



第2-6図 低レベル廃液等の漏えい液の保持
（漏えいした溶液の保持、重力流による回収）



第2-7図 低レベル廃液等の漏えい液の保持
(漏えいした溶液の保持、重力流による回収)

iv. 【放射性物質を保持する系統の負圧維持】

分配設備のプルトニウム分配塔等のパルスカラムは、空気式パルス発生装置（パルセータ）を接続し、カラム内の溶液に周期的にパルスを与えて抽出特性を向上させている。パルスカラムからの廃ガスは、分配設備のパルセータを經由して放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 分離建屋塔槽類廃ガス処理設備 パルセータ廃ガス処理系（以下、「パルセータ廃ガス処理系」という。）（「別紙 1-2-4-1-2-4 分離建屋、精製建屋塔槽類廃ガス処理設備パルセータ廃ガス処理系」で抽出）に排気し、処理される。

塔槽類と塔槽類廃ガス処理設備の設備区分点は、原則、塔槽類からの廃ガスの管台であるが、分配設備のプルトニウム分配塔等のパルスカラムからの廃ガスは、分配設備のパルセータを經由して排気されるため、【放射性物質を保持する系統の負圧維持】に関する機能が分配設備に存在している。

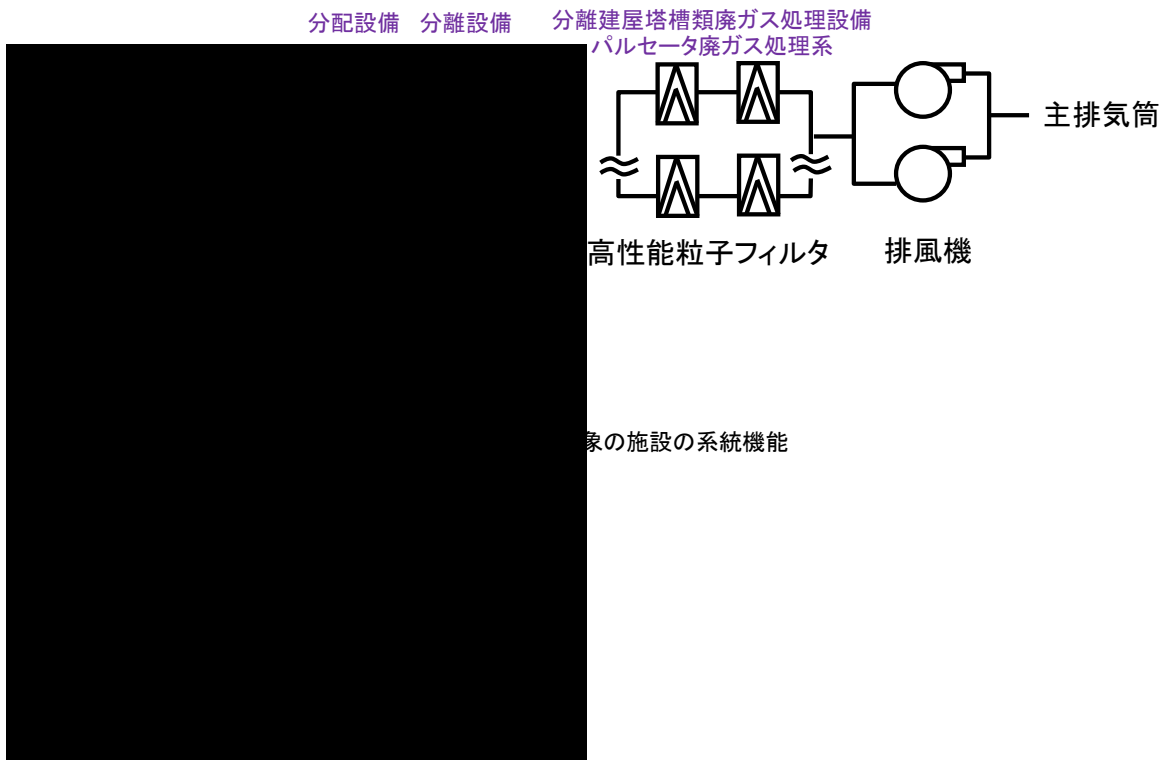
【放射性物質を保持する系統の負圧維持】に関する機能は、系統内を常時負圧に維持するために必要な排風機及びパルセータから排風機まで廃ガスを移送する配管で構成される系統によって機能が発揮され、これらを主流路として設定する。

また、上記のとおり、塔槽類と塔槽類廃ガス処理設備の設備区分点は、原則、塔槽類からの廃ガスの管台であるが、プルトニウムを含む溶液を内包する環状形槽の溢流時の移送配管は、本槽の外周に設けられた中性子吸収材等を欠損させないように、本槽の上部に設けられた廃ガスの配管に接続されており、溢流時には、プルトニウムを含む溶液が移送されるため、【放射性物質を保持する系統の負圧維持】に関する機能が分配設備に存在している。

【放射性物質を保持する系統の負圧維持】に係る分配設備の範囲は、以下のとおり。
(第 2 - 8 図参照)

- 分配設備のプルトニウム分配塔及びウラン洗浄塔からパルセータ廃ガス処理系までパルセータ廃ガスを移送する配管（第 2 - 8 図参照）

主配管の具体的な範囲は「2. (3) 主配管名称の設定の考え方」の「(a) 第 10 条：閉じ込めの機能 iv. 【放射性物質を保持する系統の負圧維持】」に示す。



第2-8図 放射性物質を保持する系統の負圧維持 系統概要図

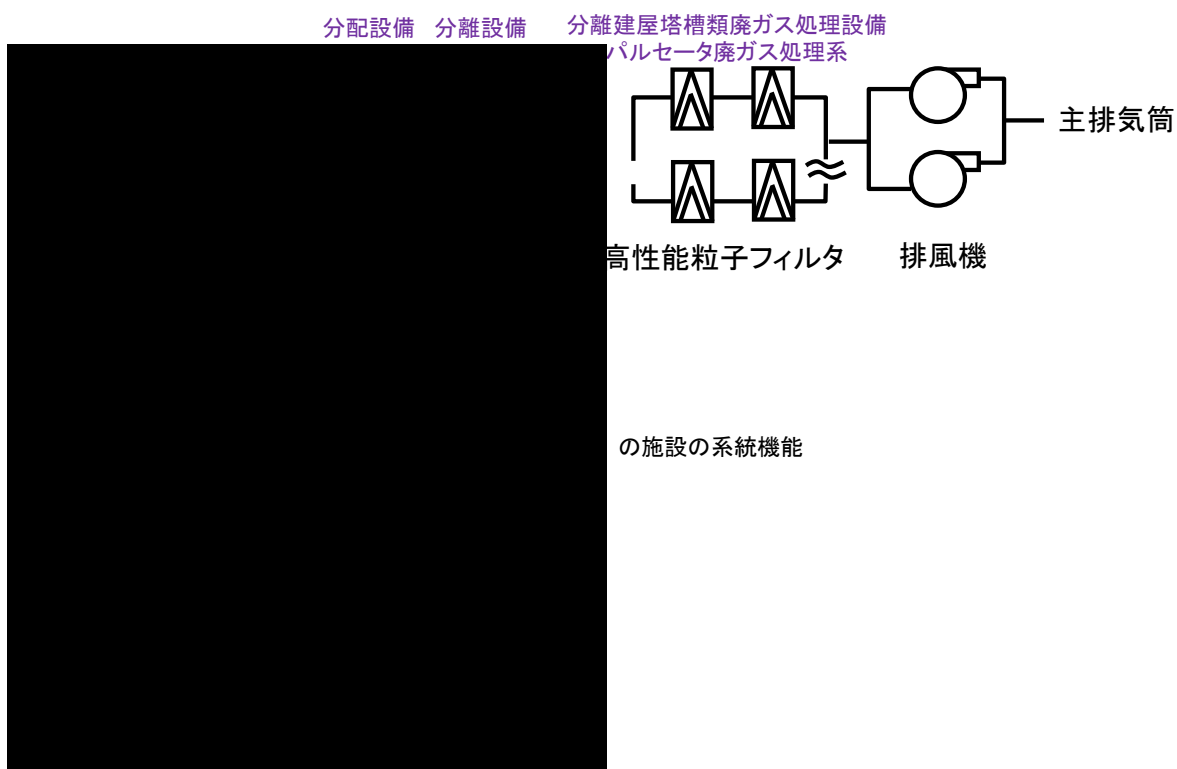
v. 【設計基準事故時における閉じ込め機能】

分離設備の抽出塔等のパルスカラムがパルセータ廃ガス処理系に接続されていることは「iv. 【放射性物質を保持する系統の負圧維持】」に記載したとおりである。

パルセータ廃ガス処理系は、設計基準事故時においても、その他再処理設備の附属施設 電気設備（以下、「電気設備」という。）のディーゼル発電機（「別紙 1-3 電気設備」で抽出）より排風機の運転に必要な電力が供給され、可能な限り負圧を維持することで、放射性物質の閉じ込め機能を確保するため、廃ガス発生元の分配設備のプルトニウム分配塔及びウラン洗浄塔からのパルセータ廃ガスを主排気筒まで移送するラインを主流路として設定する。この範囲は、「(a) 10 条：閉じ込めの機能 iv. 【放射性物質を保持する系統の負圧維持】」で示した主流路の範囲と同じである。（第 2－9 図参照）

各排風機への電力供給に係る電気設備に関する機能、性能については「別紙 1-3」に示す。

主配管の具体的な範囲は「2.（3）主配管名称の設定の考え方」の「(a) 第 10 条：閉じ込めの機能 v. 【設計基準事故時における閉じ込め機能】」に示す。



第 2－9 図 設計基準事故時における閉じ込め機能 系統概要図

(b) 第11条・第35条：火災等による損傷の防止

i. 【Pu溶液又はHAW溶液を保有する貯槽の水素掃気】

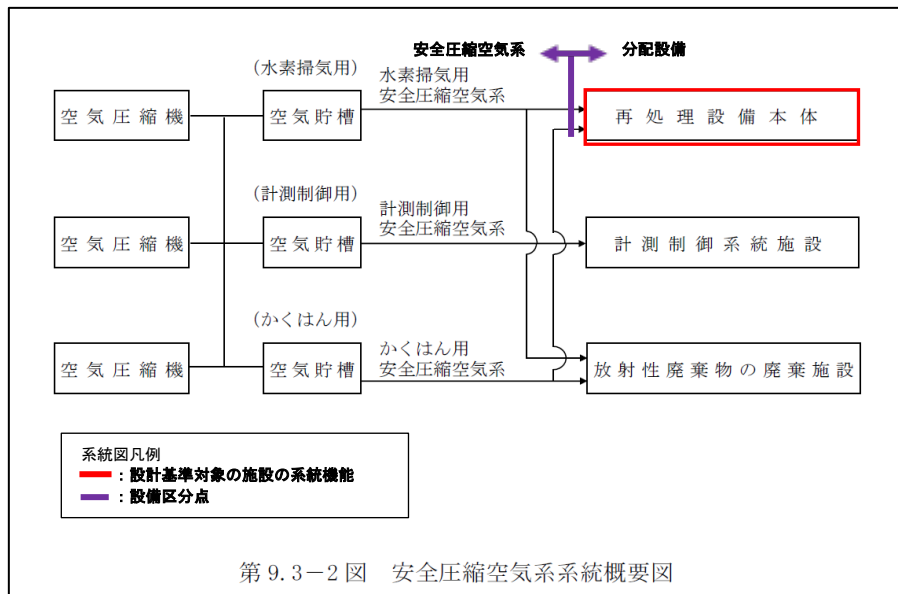
放射線分解により発生する水素によって機器空間部の水素濃度が24時間未満で4vol%に至るおそれのある機器は、その他再処理設備の附属施設 圧縮空気設備 安全圧縮空気系（以下、「安全圧縮空気系」という。）（「別紙1-2-5-2-1 安全圧縮空気系」で抽出）から供給される水素掃気用安全圧縮空気によって機器空間部の水素を掃気する。

【Pu溶液又はHAW溶液を保有する貯槽の水素掃気】に関する機能の系統構成と主流路を設定する範囲は、「別紙1-2-5-2-1 安全圧縮空気系」に示す。

【Pu溶液又はHAW溶液を保有する貯槽の水素掃気】に係る分配設備の範囲は、以下のとおり。（第2-10図及び第2-1表参照）

- ・ 掃気対象貯槽（プルトニウム分配塔、ウラン洗浄塔、プルトニウム洗浄器、プルトニウム溶液受槽、プルトニウム溶液中間貯槽）
- ・ 水素掃気用安全圧縮空気を供給する水素掃気用配管

主配管の具体的な範囲は「2.（3）主配管名称の設定の考え方」の「(c) 第11条・第35条：火災等による損傷の防止 i. 【Pu溶液又はHAW溶液を保有する貯槽の水素掃気】」に示す。



第2-10図 安全圧縮空気系 系統概要図

(事業変更許可申請書 添付書類六 第9.3-2図抜粋)

第2-1表 水素掃気用安全圧縮空気系から圧縮空気を供給する掃気対象貯槽
(事業変更許可申請書 添付書類六 第9.3-2表(1)抜粋)

施設	設備	主要機器
溶解施設	溶解設備	ハル洗浄槽 中間ボット 水バフファ槽
	清澄・計量設備	中継槽 不溶解残渣回収槽 リサイクル槽 計量前中間貯槽 計量・調整槽 計量補助槽 計量後中間貯槽
分離施設	分離設備	溶解液中間貯槽 溶解液供給槽 抽出塔 第1洗浄塔 第2洗浄塔 T B P 洗浄塔 抽出廃液受槽 抽出廃液中間貯槽 抽出廃液供給槽
	分配設備	プルトニウム分配塔 ウラン洗浄塔 プルトニウム洗浄器 プルトニウム溶液受槽 プルトニウム溶液中間貯槽
	分離建屋一時貯留 処理設備	第1一時貯留処理槽 第2一時貯留処理槽 第3一時貯留処理槽 第4一時貯留処理槽 第5一時貯留処理槽 第6一時貯留処理槽 第7一時貯留処理槽 第8一時貯留処理槽 第9一時貯留処理槽 第10一時貯留処理槽
精製施設	プルトニウム精製設備	プルトニウム溶液供給槽 抽出塔 核分裂生成物洗浄塔 逆抽出塔 ウラン洗浄塔 補助油水分離槽 T B P 洗浄器 プルトニウム溶液受槽 油水分離槽

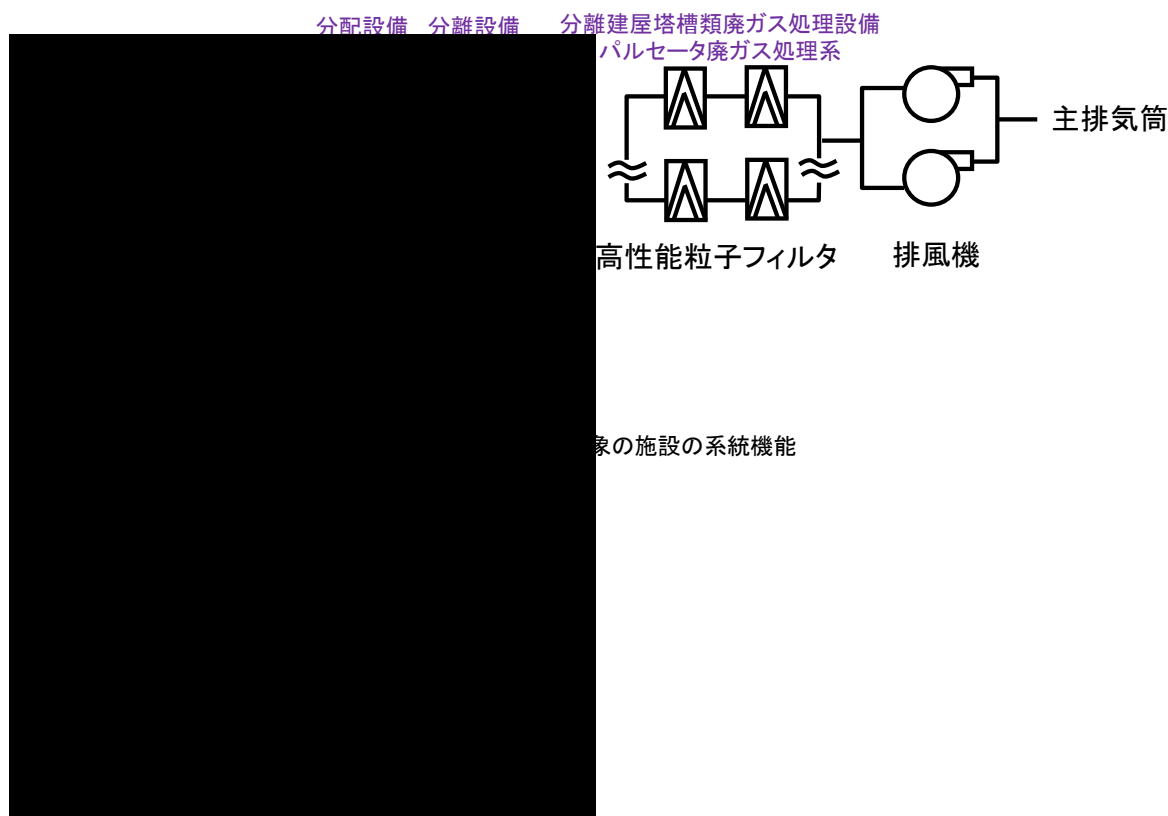
(c) 第 24 条：廃棄施設

i. 【放射性気体廃棄物の処理及び排気】

分配設備の抽出塔等のパルスカラムがパルセータ廃ガス処理系に接続されていることは「(a) 10 条：閉じ込めの機能 iv. 【放射性物質を保持する系統の負圧維持】」に記載したとおりである。

分配設備の塔槽類のうち、常時負圧に維持する必要がある廃ガス発生元のプルトニウム分配塔及びウラン洗浄塔からパルセータ廃ガス処理系へ導くラインを主流路として設定する。この範囲は、「(a) 10 条：閉じ込めの機能 iv. 【放射性物質を保持する系統の負圧維持】」で示した主流路の範囲と同じである。(第 2-11 図参照)

主配管の具体的な範囲は「2. (3) 主配管名称の設定の考え方」の「(c) 第 24 条：廃棄施設 i. 【放射性気体廃棄物の処理及び排気】」に示す。



第 2-11 図 分配設備における放射性気体廃棄物の処理及び排気機能を確保するために必要な経路の概要図

b. 重大事故等対処設備に係る機能、性能

(a) 第39条：冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処するための設備



i. 【貯槽等への注水】

分配設備には「冷却機能の喪失による蒸発乾固」の発生を仮定する機器（以下、「蒸発乾固の発生を仮定する機器」という。）は無いが、再処理設備本体 分離施設 分離建屋一時貯留処理設備（以下、「分離建屋一時貯留処理設備」という。）の蒸発乾固の発生を仮定する機器への【貯槽等への注水】に係る主流路の一部が分配設備に存在している。

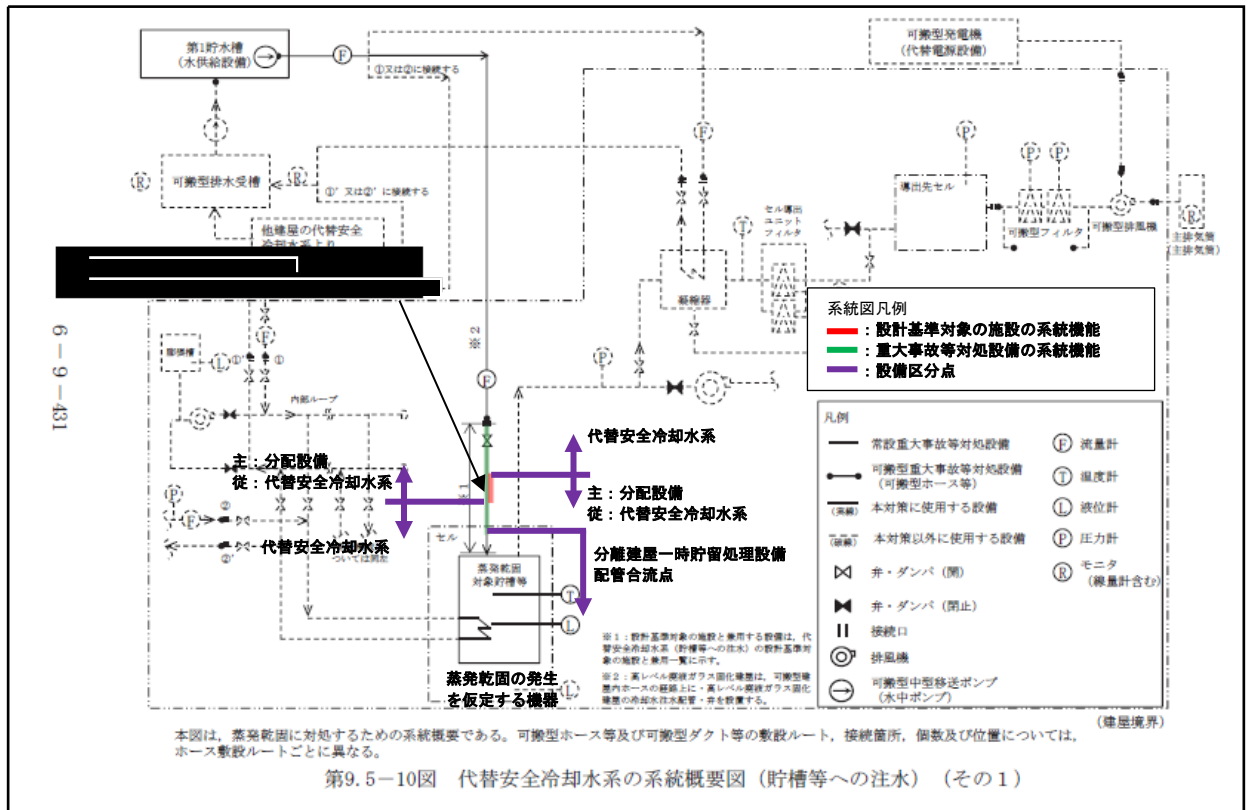
分離建屋一時貯留処理設備の【内部ループへの通水による冷却】が機能しなかった場合に、その他再処理設備の附属施設 冷却水設備 代替安全冷却水系（以下、「代替安全冷却水系」という。）（「別紙1-2-5-4-2 代替安全冷却水系」で抽出）によりその他再処理設備の附属施設 給水処理設備 水供給設備の第1貯水槽（以下、「第1貯水槽」という。）（「別紙1-2-5-3 水供給設備」で抽出）の水を分離建屋一時貯留処理設備の蒸発乾固の発生を仮定する機器に注水することで、放射性物質の発生を抑制し、及び蒸発乾固の進行を防止する。

【貯槽等への注水】に関する機能の系統構成と主流路を設定する範囲は、「別紙1-2-5-4-2 代替安全冷却水系」及び「別紙1-2-5-3 水供給設備」に示す。

【貯槽等への注水】に係る分配設備の範囲は、以下のとおり。（第2-12図参照）

- ・分離建屋一時貯留処理設備の蒸発乾固の発生を仮定する機器（第8一時貯留処理槽）へ注水する流路の一部（
)

主配管の具体的な範囲は「2.（3）主配管名称の設定の考え方」の「（a）第39条：冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処するための設備 i. 【貯槽等への注水】」に示す。



第2-12図 代替安全冷却水系 系統概要図

(計装用空気ライン以外からの貯槽等への注水)

(事業変更許可申請書 添付書類六 第9.5-10図抜粋)

(b) 第40条：放射線分解により発生する水素による爆発に対処するための設備

i. 【水素爆発を未然に防止するための空気供給】

「放射線分解により発生する水素による爆発」の発生を仮定する機器（以下、「水素爆発の発生を仮定する機器」という。）の機器空間部の水素を掃気するため、その他再処理設備の附属施設 圧縮空気設備 代替安全圧縮空気系（以下、「代替安全圧縮空気系」という。）（「別紙1-2-5-2-2 代替安全圧縮空気系」で抽出）により水素爆発の発生を仮定する機器の機器空間部に圧縮空気を供給することで、水素爆発の発生を未然に防止する。

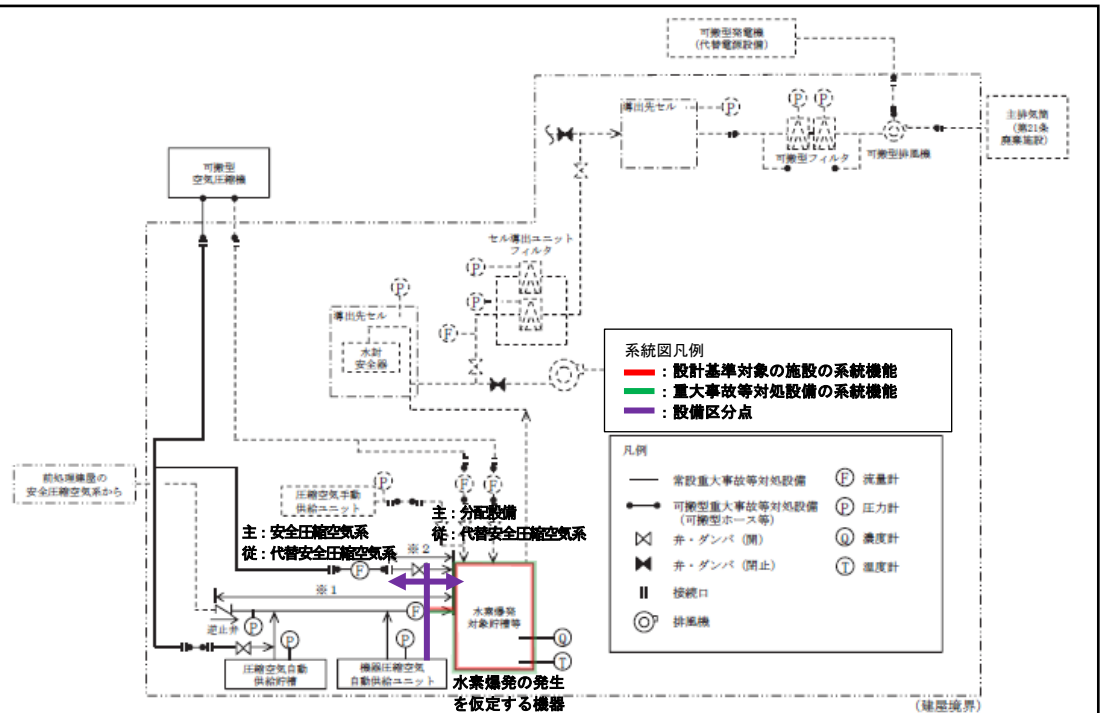
【水素爆発を未然に防止するための空気供給】に関する機能の系統構成と主流路を設定する範囲は、「別紙1-2-5-2-2 代替安全圧縮空気系」に示す。

【水素爆発を未然に防止するための空気供給】に係る分配設備の範囲は、以下のとおり（第2-13図および第2-14図参照）。

- 水素爆発の発生を仮定する機器（プルトニウム溶液受槽、プルトニウム溶液中間貯槽）
- 水素爆発の発生を仮定する機器へ圧縮空気を供給するための配管の一部

主配管の具体的な範囲は「2.（3）主配管名称の設定の考え方」の「(b) 第40条：放射線分解により発生する水素による爆発に対処するための設備 i. 【水素爆発を未然に防止するための空気供給】」に示す。

6-9-216

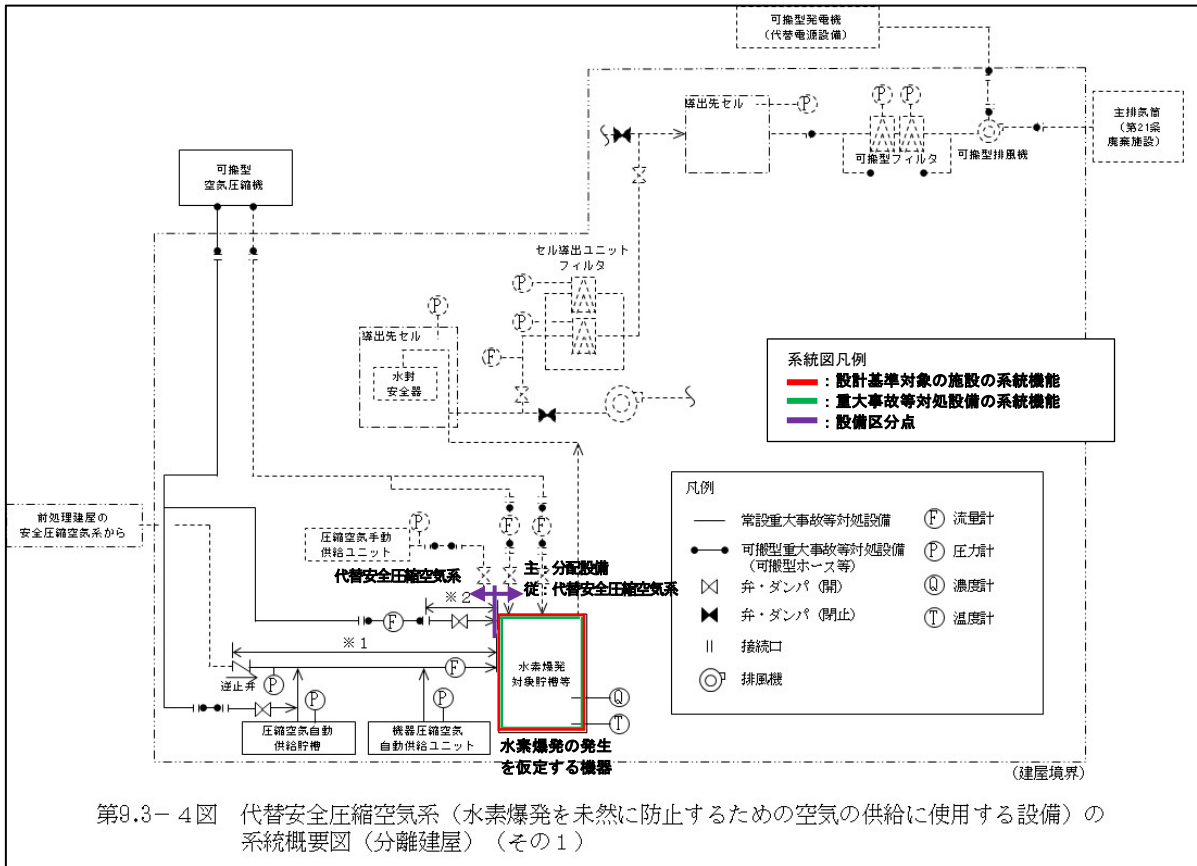


第9.3-4図 代替安全圧縮空気系（水素爆発を未然に防止するための空気の供給に使用する設備）の系統概要図（分離建屋）（その1）

※1：水素掃気配管・弁、※2：機器圧縮空気供給配管・弁

第2-13図 代替安全圧縮空気系（水素爆発を未然に防止するための空気供給に使用する設備）の系統概要図

（事業変更許可申請書 添付書類六 第9.3-4図抜粋）



※1：水素掃気配管・弁、※2：機器圧縮空気供給配管・弁

第2-14図 代替安全圧縮空気系（水素爆発を未然に防止するための空気供給に使用する設備）の系統概要図

（事業変更許可申付書類六 第9.3-4図抜粋）

ii. 【水素爆発の再発を防止するための空気供給】

【水素爆発を未然に防止するための空気供給】が機能しなかった場合に、代替安全圧縮空気系（「別紙1-2-5-2-2 代替安全圧縮空気系」で抽出）により水素爆発の発生を仮定する機器の機器空間部に水素爆発を未然に防止するための対策に使用する系統とは異なる系統から圧縮空気を供給することで水素爆発の再発を防止する。

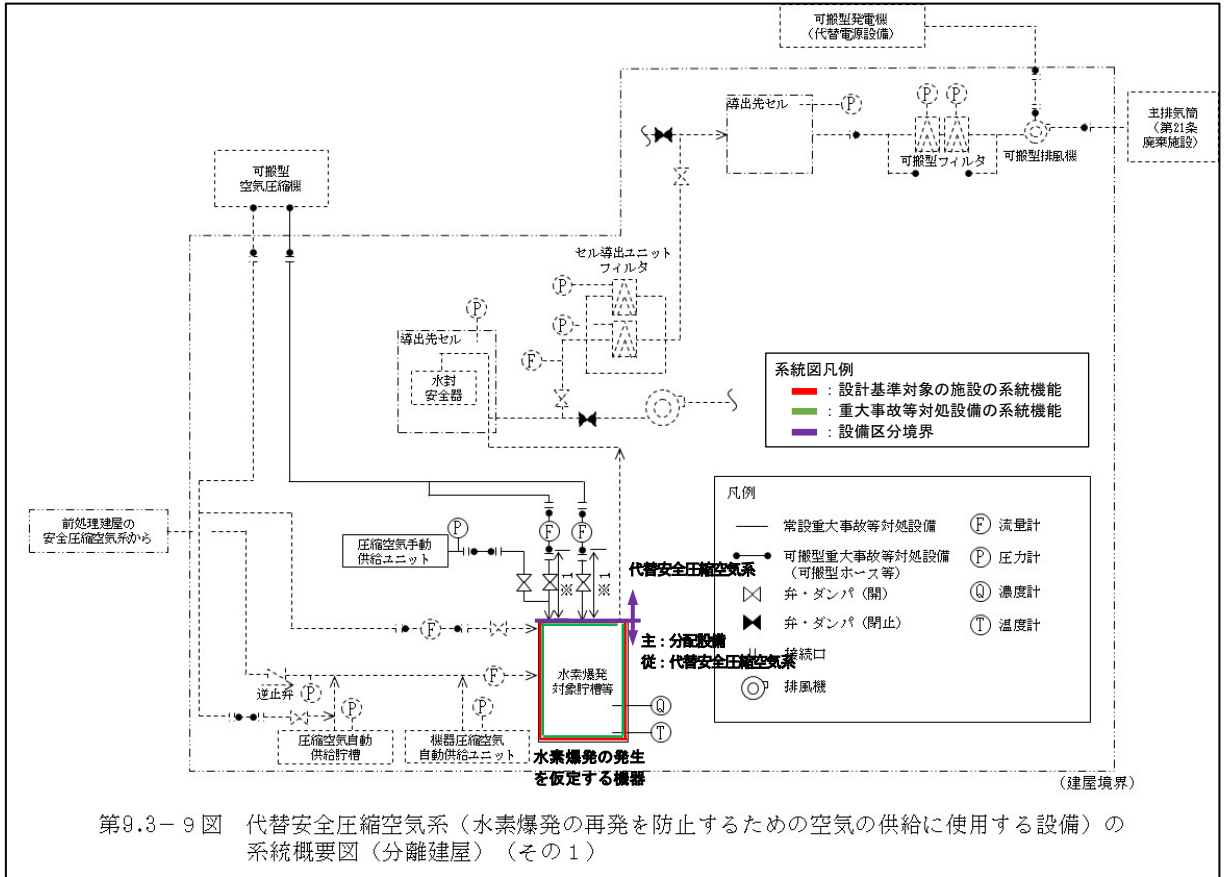
【水素爆発の再発を防止するための空気供給】に関する機能の系統構成と主流路を設定する範囲は、「別紙1-2-5-2-2 代替安全圧縮空気系」に示す。

【水素爆発の再発を防止するための空気供給】に係る分配設備の範囲は、以下のとおり（第2-15図参照）。

- 水素爆発の発生を仮定する機器（プルトニウム溶液受槽、プルトニウム溶液中間貯槽）
- 水素爆発の発生を仮定する機器へ圧縮空気を供給するための配管の一部

水素爆発の発生を仮定する機器と水素爆発の発生を仮定する機器へ圧縮空気を供給する配管の取合いは、水素爆発の発生を仮定する機器の管台としている。このため、分配設備には【水素爆発の再発を防止するための空気供給】に係る主配管は無い。

主配管の具体的な範囲は「2.（3）主配管名称の設定の考え方」の「(b) 第40条：放射線分解により発生する水素による爆発に対処するための設備 ii. 【水素爆発の再発を防止するための空気供給】」に示す。



※1：機器圧縮空気供給配管・弁

第2-15図 代替安全圧縮空気系（水素爆発の再発を防止するための空気供給に使用する設備）の系統概要図

（事業変更許可申請書 添付書類六 第9.3-9図抜粋）

iii. 【セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応（管理放出：水素爆発）】

水素爆発が発生すると、水素爆発によって発生する飛まつに放射性物質が同伴して気相中に放射性エアロゾルとして移行し、大気中へ放出される放射性物質の量が増加する。このため、水素爆発の発生を仮定する機器の気相中に移行する放射性物質をセルに導出し、大気中へ放出される放射性物質を低減する。

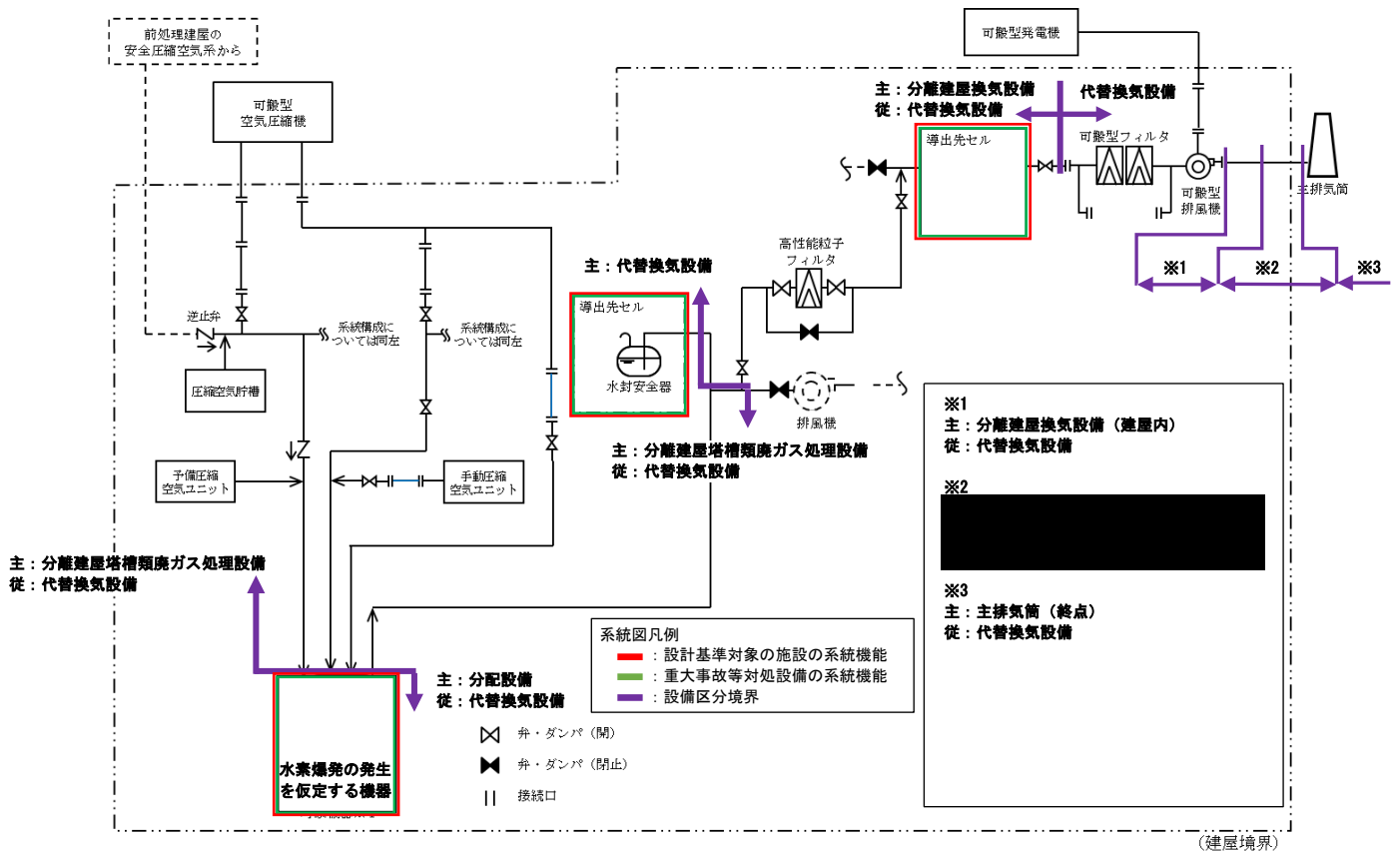
【セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応（管理放出：水素爆発）】に関する機能の系統構成と主流路を設定する範囲は、「別紙1-2-4-1-5 代替換気設備」に示す。

【セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応（管理放出：水素爆発）】に係る分配設備の範囲は以下のとおり。（第2-16図参照）

- 水素爆発の発生を仮定する機器（プルトニウム溶液受槽、プルトニウム溶液中間貯槽）

水素爆発の発生を仮定する機器と水素爆発の発生を仮定する機器の気相中に移行する放射性物質をセルに導出する経路の配管の取合いは、水素爆発の発生を仮定する機器の管台としている。このため、分配設備には【セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応（管理放出：水素爆発）】に係る主配管は無い。

主配管の具体的な範囲は「2.（3）主配管名称の設定の考え方」の「(b) 第40条：放射線分解により発生する水素による爆発に対処するための設備 iii. 【セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応（管理放出：水素爆発）】」に示す。



第 2 - 16 図 代替換気設備 系統概要図
 (事業変更許可申請書 添付書類六 第 7.2-38 図 (1) 抜粋)

(3) 主配管名称の設定の考え方

分配設備の主配管名称を設定するにあたり、系統機能に係る主流路の範囲を「2.

(2) 分配設備に係る主流路の考え方」で示した主要機器を用いて示し、主となる系統機能【放射性物質の保持機能】単位を基本とし、重大事故等対処設備として機能を期待する範囲等を踏まえて主配管名称を設定する。

このため、各系統機能に係る主流路の範囲に対し、系統機能、流体が異なる単位毎（主配管グループ）に纏め、「主配管（溶液保持系）」、兼用する場合は「主配管（溶液保持系、代替安全冷却水系）」等と記載する。また、系統概要図にて主流路を設定した範囲と、「添付3（1）抽出リスト」、「添付2 申請対象設備リスト」に示す主配管グループとの紐付け関係が判るように示す。

なお、上記の主配管グループを、それぞれ個別の主配管に展開していく際に、個別の名称の付け方は、添付する「別紙1-2-6 設計図書の記載に係る留意事項」に従い、仕様表作成段階までに詳細化（from-to形式）を実施する。

分配設備は「2. (2) 分配設備に係る主流路の考え方」の第2-9図で示したとおり、「第10条：閉じ込めの機能 v. 【設計基準事故時における閉じ込め機能】」に関する機能及び「第24条：廃棄施設 i. 【放射性気体廃棄物の処理及び排気】」に関する機能を発揮するための主流路の範囲が「第10条：閉じ込めの機能 vi. 【放射性物質を保持する系統の負圧維持】」に関する機能を発揮するための主流路の範囲に含まれることから、これらを合わせて各系統機能に係る主流路の範囲を示す。

a. 設計基準対象の施設に係る機能、性能

(a) 第10条：閉じ込めの機能

i. 【放射性物質の保持機能】

分配設備の【放射性物質の保持機能】に係る主流路（第3-1図、第3-2図及び第3-3図参照）の範囲を主要機器で示すと以下のとおり。主要機器間をつなぐ配管（「⇒」で示す）が主配管であり、名称は「主配管（溶液保持系）」とする。

なお、カッコ内の設備は、当該設備とは異なる設備区分の設備であるが、他設備（カッコ内設備）を含めた、当該設備の全体像を明確にするために記載するものである。

- [第2洗浄塔^{*1}] ⇒ プルトニウム分配塔 ⇒ プルトニウム洗浄器 ⇒ ウラン逆抽出器
⇒ ウラン溶液TBP洗浄器 ⇒ ウラン濃縮缶供給槽 ⇒ ウラン濃縮缶
⇒ ウラン濃縮液受槽 ⇒ [ウラン溶液供給槽^{*2}]
- プルトニウム分配塔 ⇒ ウラン洗浄塔 ⇒ プルトニウム溶液TBP洗浄器
⇒ プルトニウム溶液受槽 ⇒ プルトニウム溶液中間貯槽
⇒ [プルトニウム溶液供給槽^{*3}]
- プルトニウム溶液受槽及びプルトニウム溶液中間貯槽 ⇒ [第8一時貯留処理槽^{*4}]
- [REDACTED]
- 主流路上の機器及び配管との接続箇所 ⇒ 放射性物質の保持機能を有しない範囲の第1弁又は第1機器

※1 分離設備：分離設備と分配設備の設備区分点は、分配設備のプルトニウム分配塔の管台（溶接線）とする。

※2 ウラン精製設備：分配設備とウラン精製設備の設備区分点は、ウラン溶液の移送先であるウラン精製設備のウラン溶液供給槽の管台（溶接線）とする。

※3 プルトニウム精製設備：分配設備とプルトニウム精製設備の設備区分点は、プルトニウム溶液の移送先であるプルトニウム精製設備のプルトニウム溶液供給槽の管台（溶接線）とする。

※4 分離建屋一時貯留処理設備：分配設備と分離建屋一時貯留処理設備の設備区分点は、[REDACTED]とする。

※5 [REDACTED]
[REDACTED]とする。

また、主流路のカッコ内設備の主要機器等は、以下の別紙に示す。

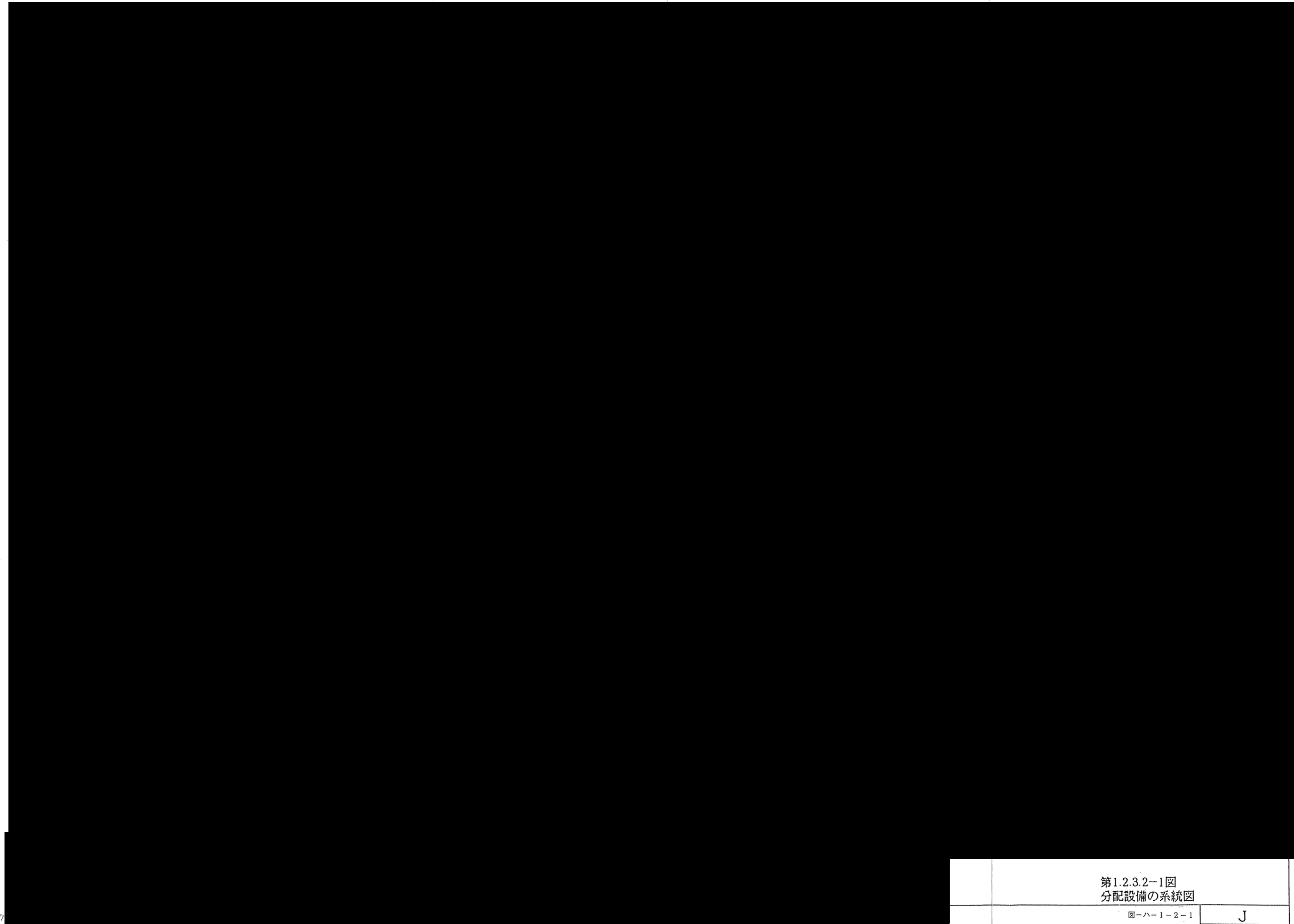
別紙1-2-2-3-1 分離設備

別紙1-2-2-4-1 ウラン精製設備

別紙1-2-2-4-2 プルトニウム精製設備

[REDACTED] [REDACTED]

別紙1-2-2-3-3 分離建屋一時貯留処理設備



第1.2.3.2-1図
分配設備の系統図

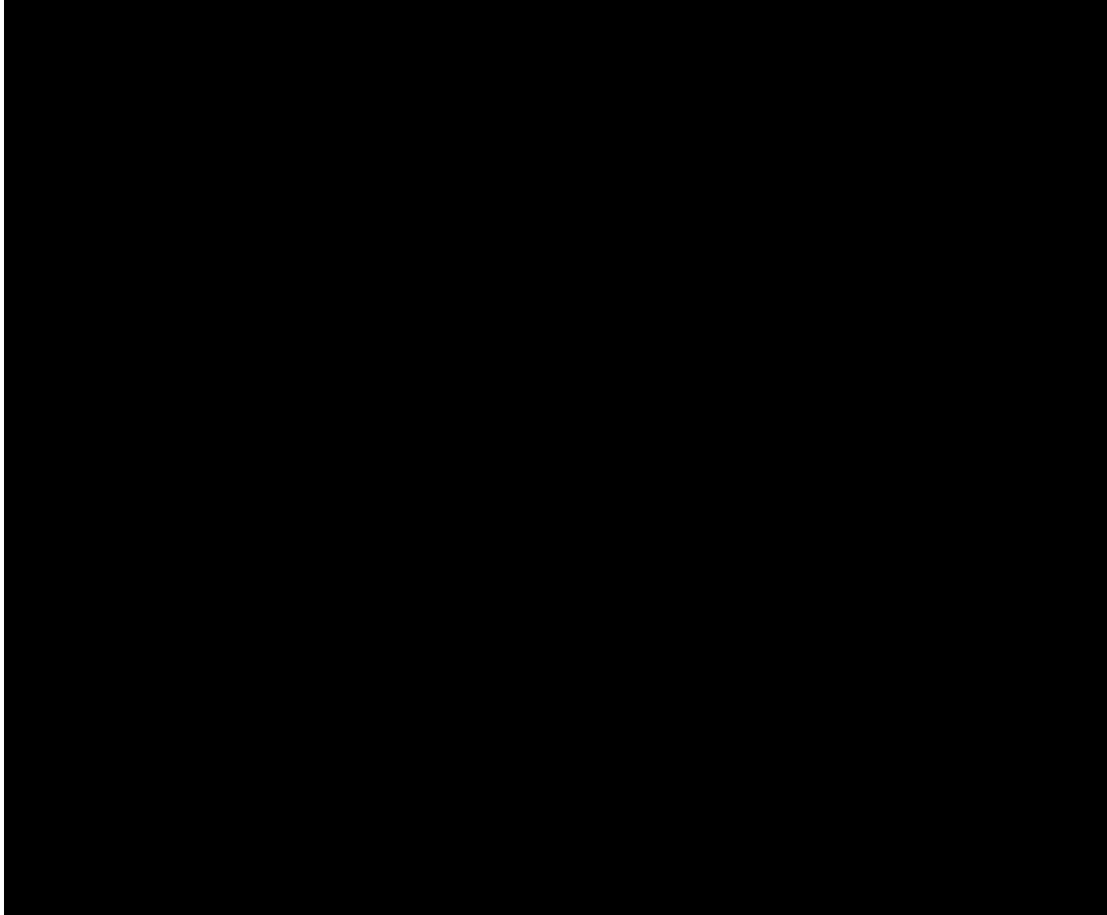
図-ハ-1-2-1

J

第3-1図 分配設備 系統図 (放射性物質の保持機能)



第 3 - 2 図 放射性物質の保持機能の観点で主流路に設定する配管 (1) 系統概要図



第3-3図 放射性物質の保持機能の観点で主流路に設定する配管（2） 系統概要図

ii. 【セル等の漏えい拡大防止及び漏えい液回収】

分配設備の【セル等の漏えい拡大防止及び漏えい液回収】に係る主流路（第3－4図参照）の範囲を主要機器で示すと以下のとおり。主要機器間をつなぐ配管（「⇒」で示す）が主配管であり、名称は「主配管（漏えい液回収系）」とする。

なお、カッコ内の設備は、当該設備とは異なる設備区分の設備であるが、他設備（カッコ内設備）を含めた、当該設備の全体像を明確にするために記載するものである。

<重力流による回収>

（重力流で他の漏えい液受皿に回収する配管）（第3－4図参照）

- 漏えい液受皿（重力流回収）⇒漏えい液受皿（最終受皿）

<漏えい液回収ポンプによる回収>

（漏えい液の流れ）（第3－4図参照）

- 漏えい液受皿⇒漏えい液回収ポンプ⇒〔回収先の貯槽^{※1}〕

※1 分離建屋一時貯留処理設備：分配設備と分離建屋一時貯留処理設備の設備区分点は、漏えい液の移送先である分離建屋一時貯留処理設備の第1一時貯留処理槽の管台（溶接線）とする。

（漏えい液回収ポンプ駆動用の安全蒸気の流れ）（第3－4図参照）

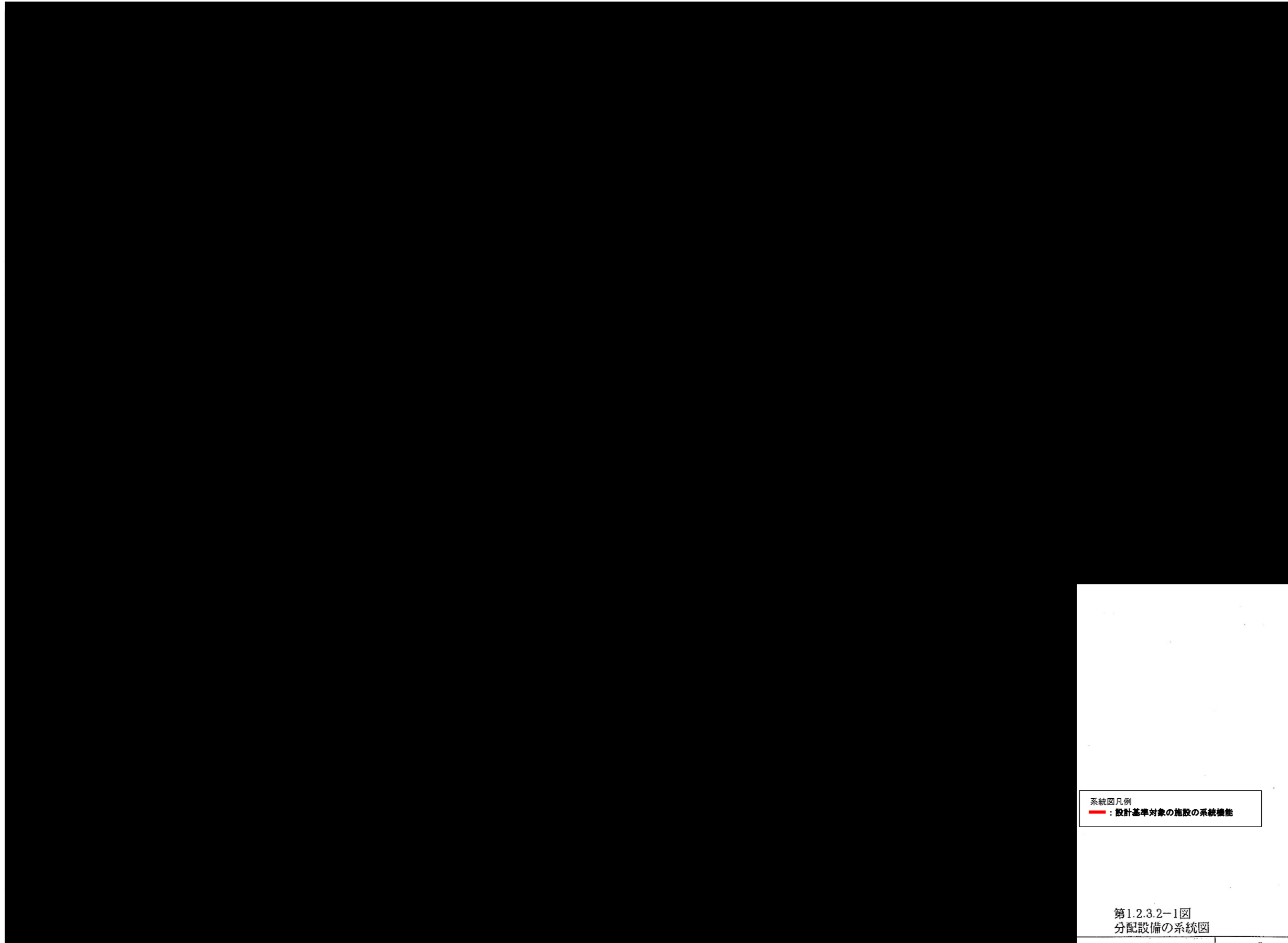
- 〔安全蒸気ボイラ^{※2}〕⇒漏えい液回収ポンプ駆動用安全蒸気接続口^{※2}⇒漏えい液回収ポンプ

※2 安全蒸気系：分配設備と安全蒸気系の設備区分点は、可搬型ホース（接続端）とする。

また、主流路のカッコ内設備の主要機器等は、以下の別紙に示す。

別紙1-2-5-5 安全蒸気系

別紙1-2-2-3-3 分離建屋一時貯留処理設備



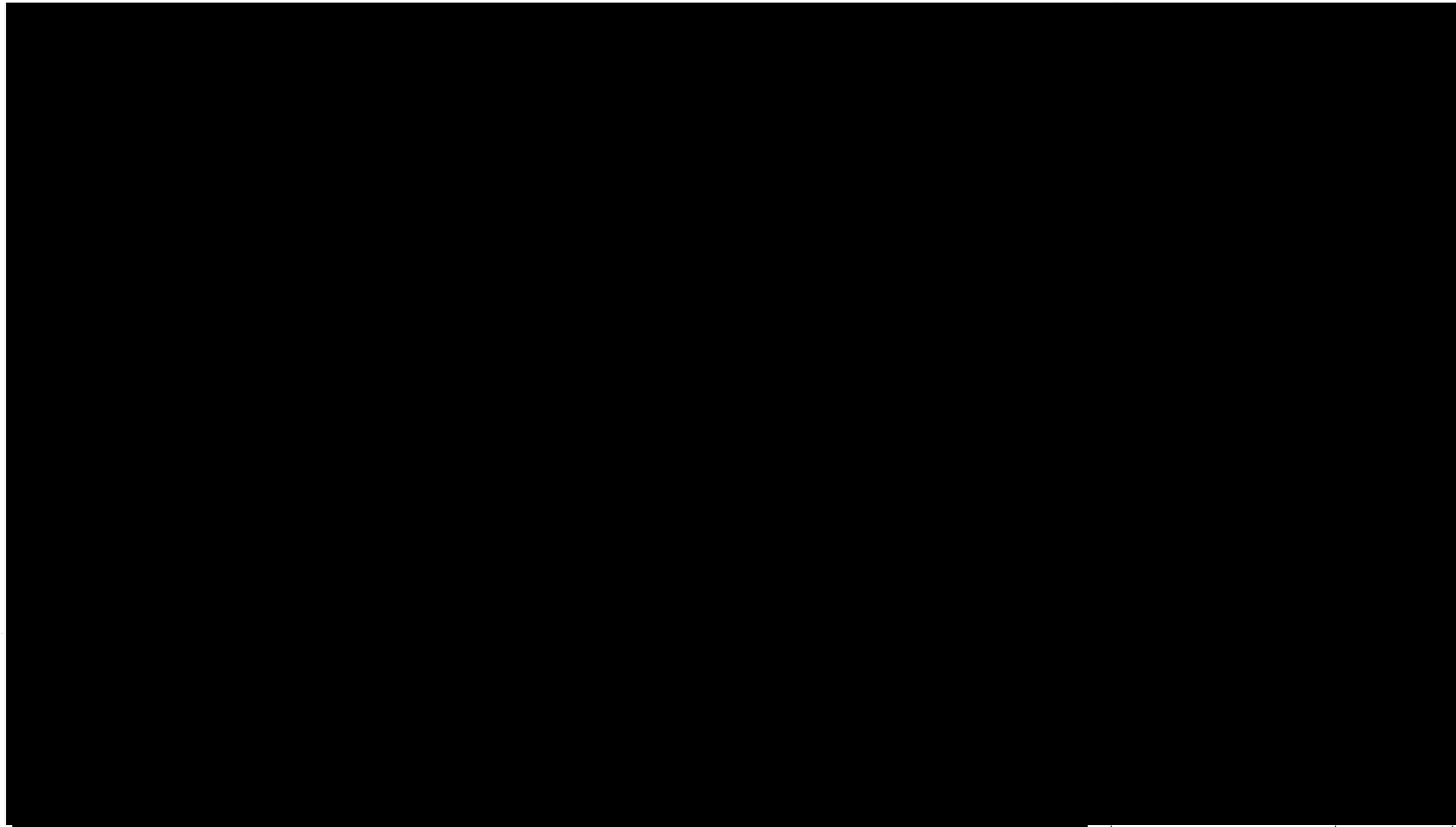
系統図凡例
— : 設計基準対象の施設の系統機能

第1.2.3.2-1図
分配設備の系統図

図-ハ-1-2-1

J

第3-4図(1) 分配設備 系統図 (セル等の漏えい拡大防止及び漏えい液回収) (重力流回収)



624
637

系統図凡例
— : 設計基準対象の施設の系統機能
— : 設備区分点

第1.2.3.2-1図
分配設備の系統図
図-ハ-1-2-1 J

第3-4図(2) 分配設備 系統図(セル等の漏えい拡大防止及び漏えい液回収)(漏えい液の希釈及び漏えい液回収ポンプによる回収)

iii. 【室等の漏えい拡大防止】

分配設備の【室等の漏えい拡大防止】に係る主流路（第3－5図参照）の範囲を主要機器で示すと以下のとおり。主要機器間をつなぐ配管（「⇒」で示す）が主配管であり、名称は「主配管（漏えい拡大防止系）」とする。

なお、カッコ内の設備は、当該設備とは異なる設備区分の設備であるが、他設備（カッコ内設備）を含めた、当該設備の全体像を明確にするために記載するものである。

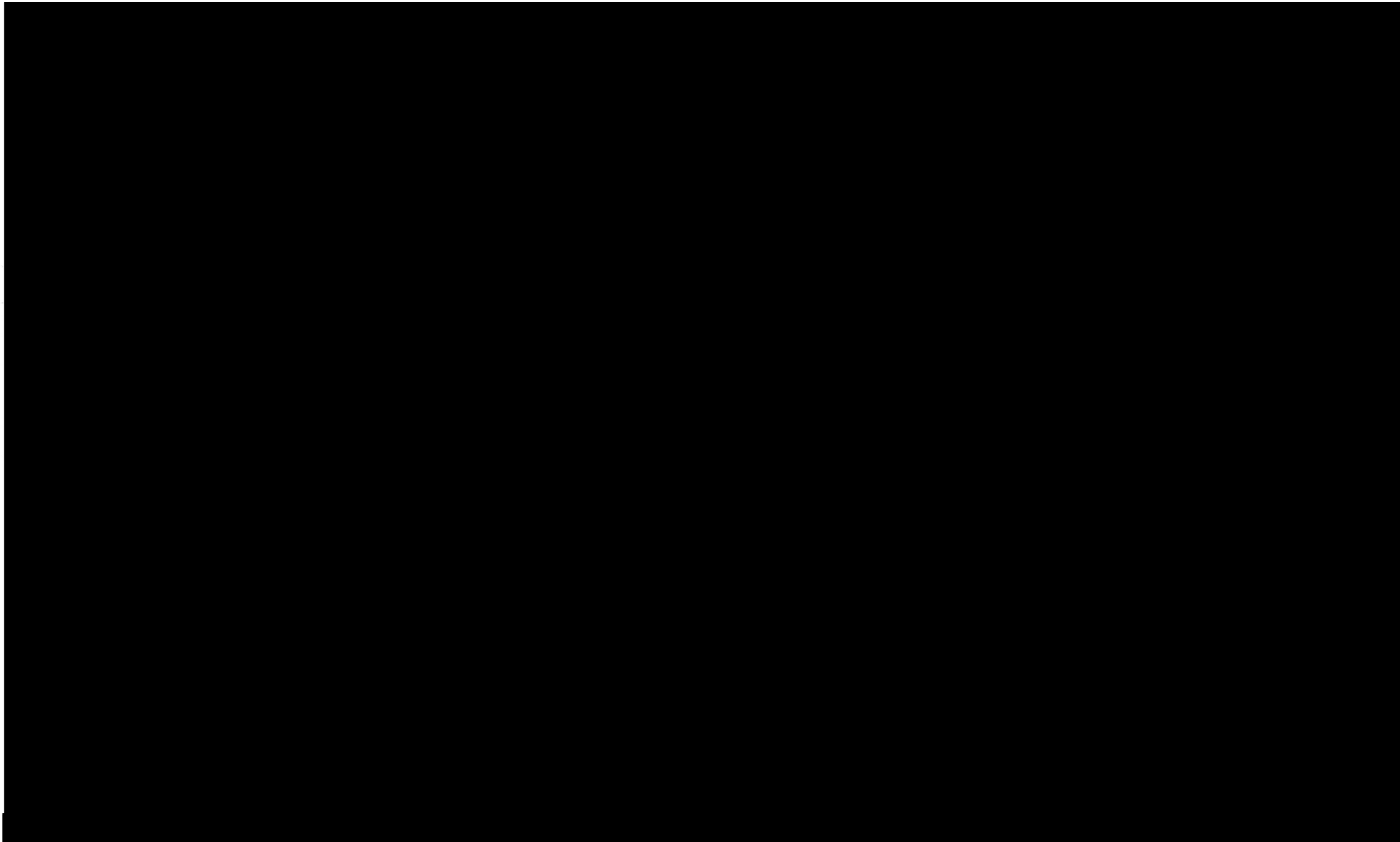
<重力流による回収>

（重力流で回収先の貯槽に回収する配管）（第3－5図参照）

- 漏えい液受皿⇒ [回収先の貯槽^{※1}]

※1 分離建屋一時貯留処理設備：分配設備と分離建屋一時貯留処理設備の設備区分点は、漏えい液の移送先である分離建屋一時貯留処理設備の第8一時貯留処理槽上流のヘッダー配管とする。

また、主流路のカッコ内設備の主要器等は、「別紙1-2-2-3-3 分離建屋一時貯留処理設備」で示す。



系統図凡例
 ■：設計基準対象の施設の系統機能
 ■：設備区分点

第1.2.3.2-1図
 分配設備の系統図

図-ハ-1-2-1

J

第3-5図 分配設備 系統図 (室等の漏えい拡大防止)

- (a) 第 10 条：閉じ込めの機能
- iv. 【放射性物質を保持する系統の負圧維持】
 - v. 【設計基準事故時における閉じ込め機能】
- (c) 第 24 条：廃棄施設
- i. 【放射性気体廃棄物の処理及び排気】

分配設備の【放射性物質を保持する系統の負圧維持】、【設計基準事故時における閉じ込め機能】及び【放射性気体廃棄物の処理及び排気】に係る主流路（第 3－6 図参照）の範囲を主要機器で示すと以下のとおり。主要機器間をつなぐ配管（「⇒」で示す）が主配管であり、名称は「主配管（廃ガス処理系）」とする。

なお、カッコ内の設備は、当該設備とは異なる設備区分の設備であるが、他設備（カッコ内設備）を含めた、当該設備の全体像を明確にするために記載するものである。

- プルトニウム分配塔、ウラン洗浄塔⇒ [REDACTED]※1]
- プルトニウム溶液中間貯槽⇒ [REDACTED]※2]

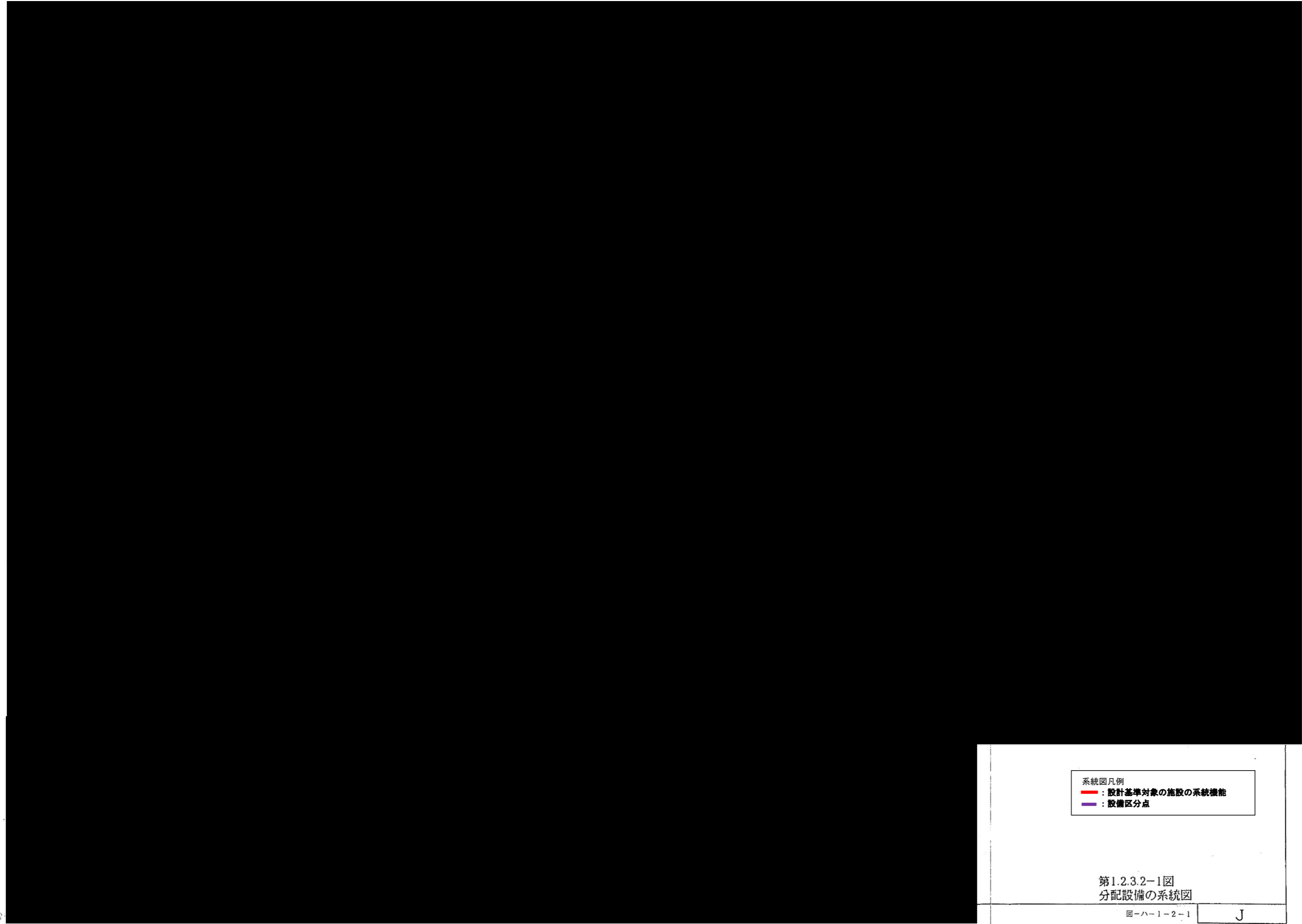
※1 [REDACTED]とする。

※2 [REDACTED]とする。

また、主流路のカッコ内設備の主要機器等は、以下の別紙に示す。

[REDACTED] [REDACTED]
[REDACTED] [REDACTED]

624



第3-6図 分配設備 系統図 (放射性物質を保持する系統の負圧維持、設計基準事故時における閉じ込め機能、放射性気体廃棄物の処理及び排気)

(b) 第11条・第35条：火災等による損傷の防止

i. 【Pu溶液又はHAW溶液を保有する貯槽の水素掃気】

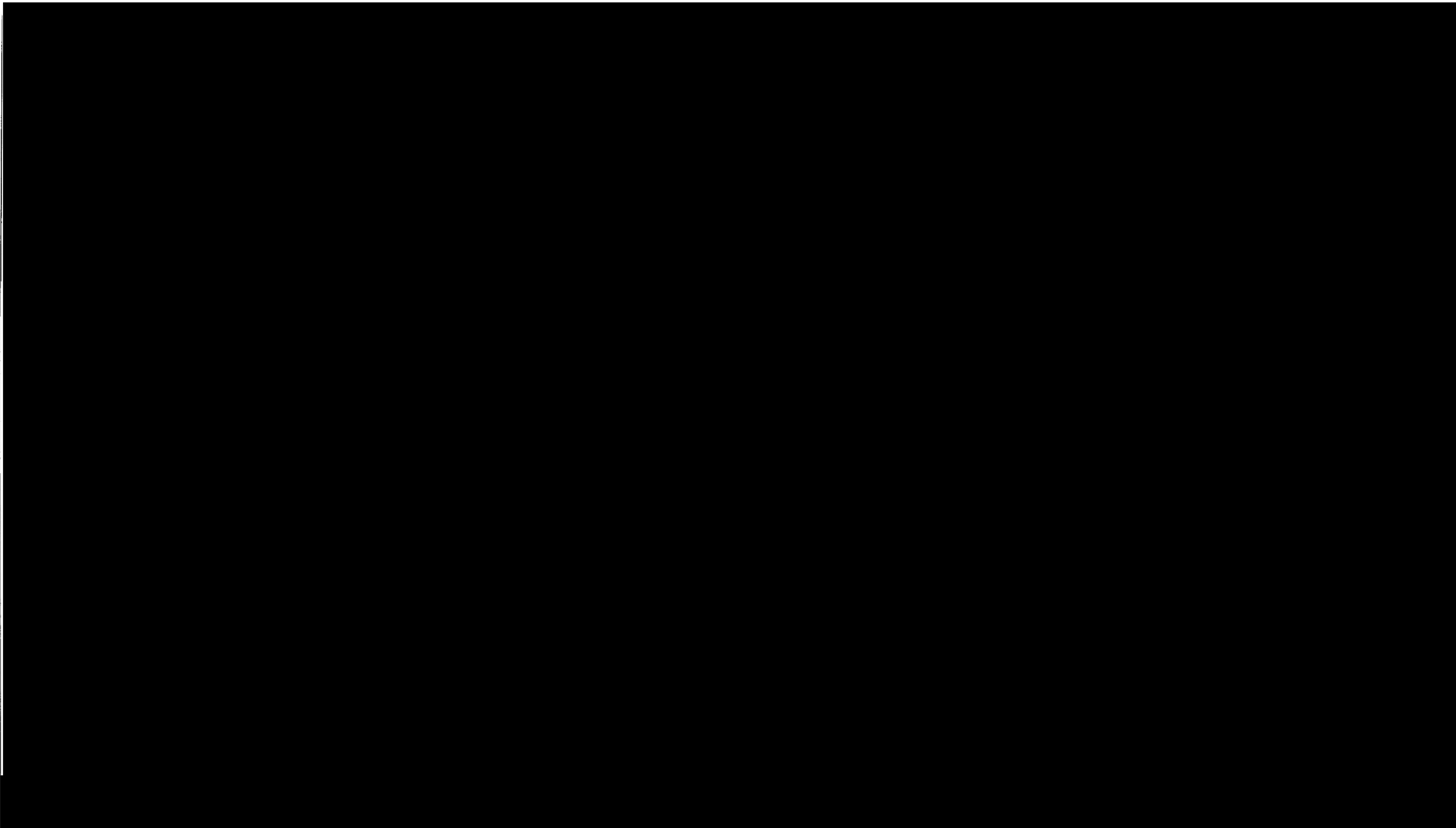
分配設備の【Pu溶液又はHAW溶液を保有する貯槽の水素掃気】に係る主流路（第3－7図参照）の範囲を主要機器で示すと以下のとおり。主要機器間をつなぐ配管（「⇒」で示す）が主配管であり、名称は「主配管（水素掃気系）」とする。

なお、カッコ内の設備は、当該設備とは異なる設備区分の設備であるが、当該設備（カッコ内設備）を含めた、当該設備の全体像を明確にするために記載するものである。

- [空気圧縮機^{※1}] ⇒ [空気貯槽（水素掃気用）^{※1}] ⇒ [弁（掃気対象貯槽から見て第1弁^{※1}）] ⇒ 掃気対象貯槽（プルトニウム溶液受槽、プルトニウム溶液中間貯槽、プルトニウム分配塔、ウラン洗浄塔）（第3－7図参照）

※1 安全圧縮空気系：分配設備と安全圧縮空気系の設備区分点は掃気対象貯槽から見て第1弁とする。

また、主流路のカッコ内設備の主要機器等は、「別紙1-2-5-2-1 安全圧縮空気系」で示す。



624

637

系統図凡例
— : 設計基準対象の施設の系統機能
— : 設備区分点

第1.2.3.2-1図
分配設備の系統図

図-ハ-1-2-1

J

第3-7図 分配設備 系統図 (Pu 溶液又は HAW 溶液を保有する貯槽の水素掃気機能)

b. 重大事故等対処設備に係る機能、性能及び主流路

(a) 第39条：冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処するための設備

i. 【貯槽等への注水】

分配設備の【貯槽等への注水】機能に係る主流路の範囲を主要機器で示すと以下のとおり。主要機器間をつなぐ配管（「⇒」で示す）が主配管であり、名称は「主配管（貯槽等注水系）」とする。

なお、カッコ内の設備は、当該設備とは異なる設備区分の設備であるが、他設備（カッコ内設備）を含めた、当該設備の全体像を明確にするために記載するものである。

- [第1貯水槽^{※1}] ⇒ [可搬型中型移送ポンプ^{※2}] ⇒ [機器注水接続口^{※2}] ⇒ 代替安全冷却水系供給配管接続部^{※3,4} ⇒ [分離建屋一時貯留処理設備の蒸発乾固の発生を仮定する機器^{※5}]
(第3-8図参照)

※1 水供給設備

※2 代替安全冷却水系

※3 二重下線部は設計基準対象の施設と兼用する主要機器等を示す。

※4

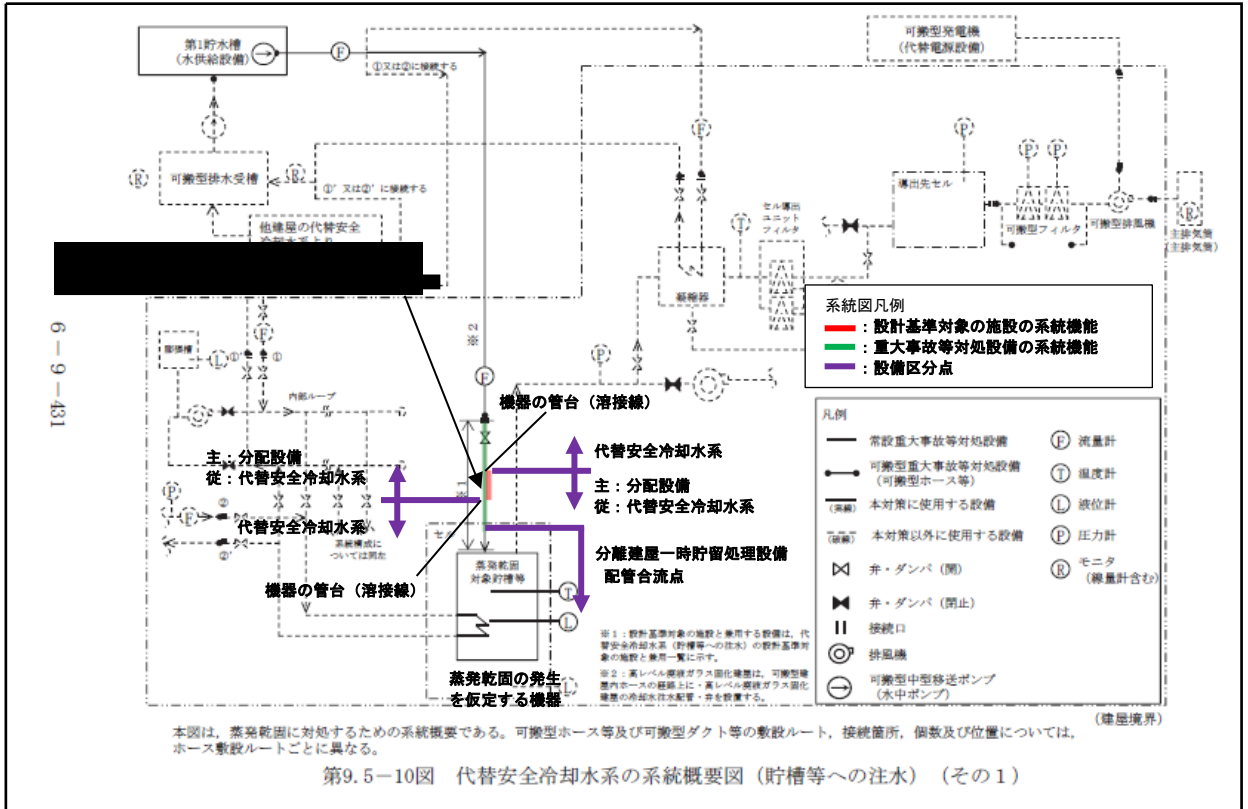
※5 蒸発乾固の発生を仮定する機器：第8一時貯留処理槽

また、主流路のカッコ内設備の主要機器等は、以下の別紙に示す。

別紙1-2-5-3 水供給設備

別紙1-2-5-4-2 代替安全冷却水系

なお、代替安全冷却水系内における蒸発乾固の発生を仮定する機器へ注水する配管と分配設備との取合いは、分離建屋一時貯留処理設備の蒸発乾固の発生を仮定する機器への注水経路となる [REDACTED] の管台（溶接線）とする。



第9.5-10図 代替安全冷却水系の系統概要図 (貯槽等への注水) (その1)

第3-8図 代替安全冷却水系 系統概要図
(計装用空気ライン以外からの貯槽等への注水)
(事業変更許可申請書 添付書類六 第9.5-10図抜粋)

(b) 第 40 条：放射線分解により発生する水素による爆発に対処するための設備

i. 【水素爆発を未然に防止するための空気供給】

分配設備の【水素爆発を未然に防止するための空気供給】機能に係る主流路の範囲を主要機器で示すと以下のとおり。主要機器間をつなぐ配管（「⇒」で示す）が主配管であり、名称は「主配管（未然防止掃気系）」とする。

なお、カッコ内の設備は、当該設備とは異なる設備区分の設備であるが、他設備（カッコ内設備）を含めた、当該設備の全体像を明確にするために記載するものである。

<可搬型空気圧縮機からの圧縮空気供給（第 1 接続口）>

- [可搬型空気圧縮機^{*1}] ⇒ [代替安全圧縮空気系の接続口^{*1}] ⇒ [代替安全圧縮空気系供給配管接続部^{*1}] ⇒ [弁（掃気対象貯槽から見て第 1 弁^{*1}）] ⇒ 水素爆発の発生を仮定する機器^{*2,3}（第 3 - 9 図参照）

<可搬型空気圧縮機からの圧縮空気供給（第 2 接続口）>

- [可搬型空気圧縮機^{*1}] ⇒ [代替安全圧縮空気系の接続口^{*1}] ⇒ 水素爆発の発生を仮定する機器^{*2,3}（第 3 - 10 図参照）

<圧縮空気自動供給貯槽からの圧縮空気自動供給>

- [圧縮空気自動供給貯槽^{*1}] ⇒ [代替安全圧縮空気系供給配管接続部^{*1}] ⇒ [弁（掃気対象貯槽から見て第 1 弁^{*1}）] ⇒ 水素爆発の発生を仮定する機器^{*2,3}（第 3 - 9 図参照）

<機器圧縮空気自動供給ユニットからの圧縮空気自動供給>

- [機器圧縮空気自動供給ユニット^{*1}] ⇒ [代替安全圧縮空気系供給配管接続部^{*1}] ⇒ [弁（掃気対象貯槽から見て第 1 弁^{*1}）] ⇒ 水素爆発の発生を仮定する機器^{*2,3}（第 3 - 9 図参照）

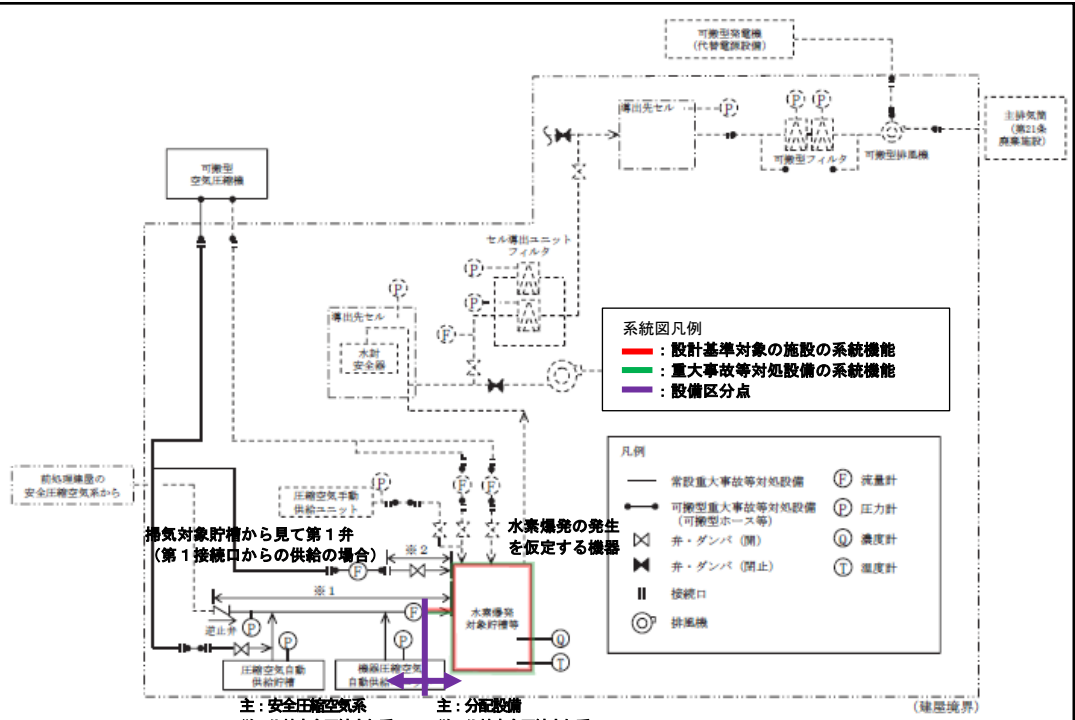
※ 1 代替安全圧縮空気系

※ 2 二重下線部は設計基準対象の施設と兼用する主要機器等を示す。

※ 3 水素爆発の発生を仮定する機器：プルトニウム溶液受槽、プルトニウム溶液中間貯槽

また、主流路のカッコ内設備の主要機器等は、「別紙1-2-5-2-2 代替安全圧縮空気系」に示す。

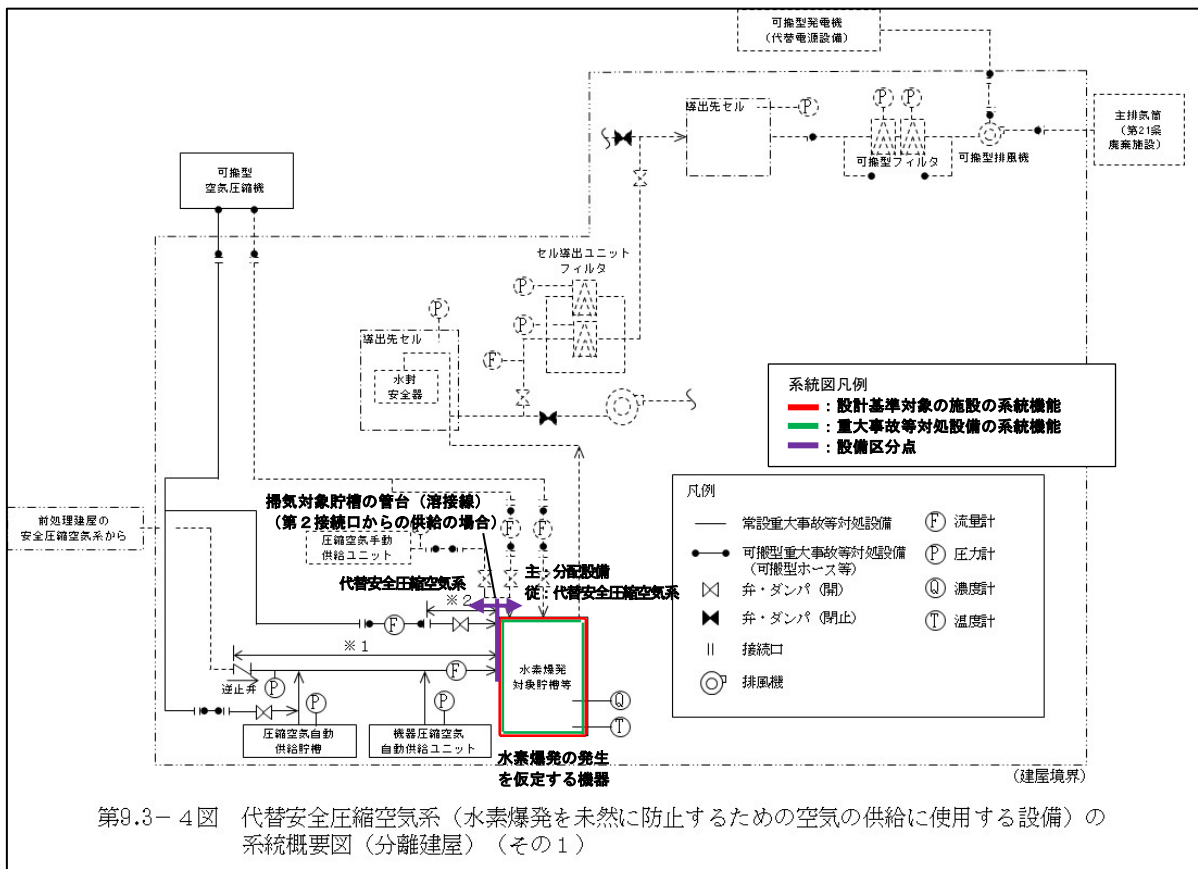
なお、代替安全圧縮空気系内における機器へ圧縮空気を供給する配管と分配設備との取合いは、弁（掃気対象貯槽から見て第 1 弁）及び水素爆発の発生を仮定する機器（プルトニウム溶液受槽、プルトニウム溶液中間貯槽）の管台（溶接線）とする。



第9.3-4図 代替安全圧縮空気系（水素爆発を未然に防止するための空気の供給に使用する設備）の系統概要図（分離建屋）（その1）

※1：水素掃気配管・弁、※2：機器圧縮空気供給配管・弁

第3-9図 代替安全圧縮空気系（水素爆発を未然に防止するための空気供給に使用する設備）の系統概要図
（事業変更許可申付書類六 第9.3-7図抜粋）



※1：水素掃気配管・弁、※2：機器圧縮空気供給配管・弁

第3-10図 代替安全圧縮空気系（水素爆発を未然に防止するための空気供給に使用する設備）の系統概要図

（事業変更許可申付書類六 第9.3-7図抜粋）

ii. 【水素爆発の再発を防止するための空気供給】

分配設備の【水素爆発の再発を防止するための空気供給】に係る主流路の範囲を主要機器で示すと以下のとおり。主要機器間をつなぐ配管（「⇒」で示す）が主配管であり、名称は「主配管（再発防止掃気系）」とする。

なお、カッコ内の設備は、当該設備とは異なる設備区分の設備であるが、他設備（カッコ内設備）を含めた、当該設備の全体像を明確にするために記載するものである。

<可搬型空気圧縮機からの圧縮空気供給>

- [可搬型空気圧縮機^{※1}] ⇒ [代替安全圧縮空気系の接続口^{※1}] ⇒ 水素爆発の発生を仮定する機器^{※2,3}（第3-11図参照）

<圧縮空気手動供給ユニットからの圧縮空気手動供給>

- [圧縮空気手動供給ユニット^{※1}] ⇒ [代替安全圧縮空気系の接続口^{※1}] ⇒ 水素爆発の発生を仮定する機器^{※2,3}
(第3-11図参照)

※1 代替安全圧縮空気系

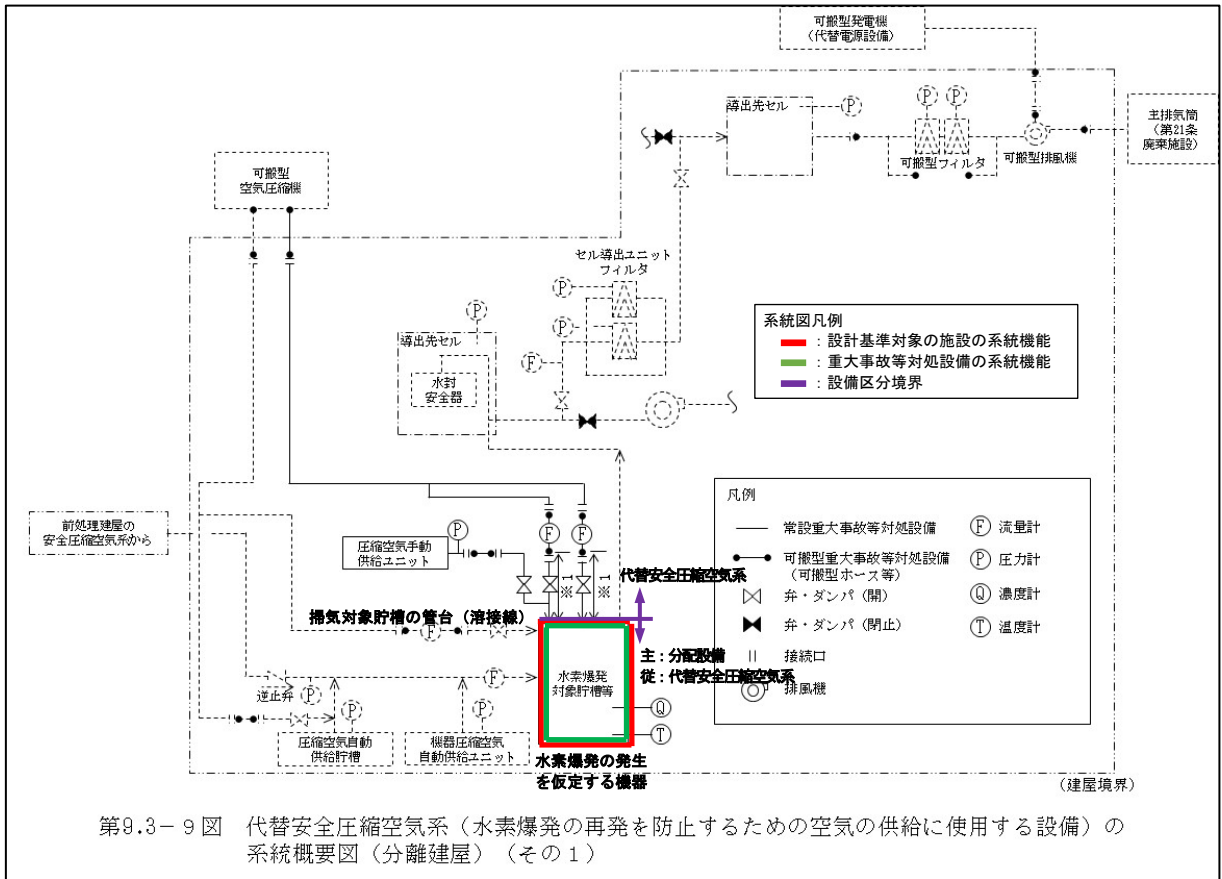
※2 二重下線部は設計基準対象の施設と兼用する主要機器等を示す。

※3 水素爆発の発生を仮定する機器：プルトニウム溶液受槽、プルトニウム溶液中間貯槽

【水素爆発の再発を防止するための空気供給】に係る分配設備の主配管は、水素爆発の発生を仮定する機器と水素爆発の発生を仮定する機器へ圧縮空気を供給する配管の取合いを、水素爆発の発生を仮定する機器の管台としているため、分配設備には【水素爆発の再発を防止するための空気供給】に係る主配管は無い。

また、主流路のカッコ内設備の主要機器等は、「別紙1-2-5-2-2 代替安全圧縮空気系」に示す。

なお、代替安全圧縮空気系内における機器へ圧縮空気を供給する配管と分配設備との取合いは、水素爆発の発生を仮定する機器（プルトニウム溶液受槽、プルトニウム溶液中間貯槽）の管台（溶接線）とする。



※1：機器圧縮空気供給配管・弁

第3-11 図 代替安全圧縮空気系（水素爆発の再発を防止するための空気供給に使用する設備）の系統概要図

（事業変更許可申請書 添付書類六 第9.3-12 図抜粋）

iii. 【セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応（管理放出：水素爆発）】

分配設備の【セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応（管理放出：水素爆発）】に係る主流路の範囲を主要機器で示すと以下のとおり。主要機器間をつなぐ配管（「⇒」で示す）が主配管であり、名称は「主配管（水素対策用セル導出系）」とする。

なお、カッコ内の設備は、当該設備とは異なる設備区分の設備であるが、他設備（カッコ内設備）を含めた、当該設備の全体像を明確にするために記載するものである。

<水素爆発の発生を仮定する機器から代替換気設備（セル導出設備）への廃ガスライン>

- 水素爆発の発生を仮定する機器^{※1,2}⇒ [分離建屋塔槽類廃ガス処理設備^{※3}]
⇒ [凝縮器^{※3}] ⇒ [セル導出ユニットフィルタ^{※3}] ⇒ [導出先セル^{※3}]
(第3-12図参照)

※1 二重下線部は設計基準対象の施設と兼用する主要機器等を示す。

※2 水素爆発の発生を仮定する機器：プルトニウム溶液受槽、プルトニウム溶液中間貯槽

※3 代替換気設備

【セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応（管理放出：水素爆発）】に係る分配設備の主配管は、水素爆発の発生を仮定する機器と水素爆発の発生を仮定する機器の気相中に移行する放射性物質をセルに導出する経路の配管の取合いを、水素爆発の発生を仮定する機器の管台としているため、分配設備には【セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応（管理放出：水素爆発）】に係る主配管は無い。

また、主流路のカッコ内設備の主要機器等は、「別紙1-2-4-1-5 代替換気設備」に示す。

なお、代替換気設備内における放射性物質をセルに導出する経路の配管と分配設備との取合いは、水素爆発の発生を仮定する機器（プルトニウム溶液受槽、プルトニウム溶液中間貯槽）の管台（溶接線）とする。

<水素爆発の発生を仮定する機器から代替換気設備（セル導出設備）への廃ガスライン（水封安全器）>

- 水素爆発の発生を仮定する機器^{※1,2}⇒ [分離建屋塔槽類廃ガス処理設備^{※3}] ⇒ [水封安全器^{※3}] ⇒ [導出先セル^{※3}] (第3-12図参照)

※1 二重下線部は設計基準対象の施設と兼用する主要機器等を示す。

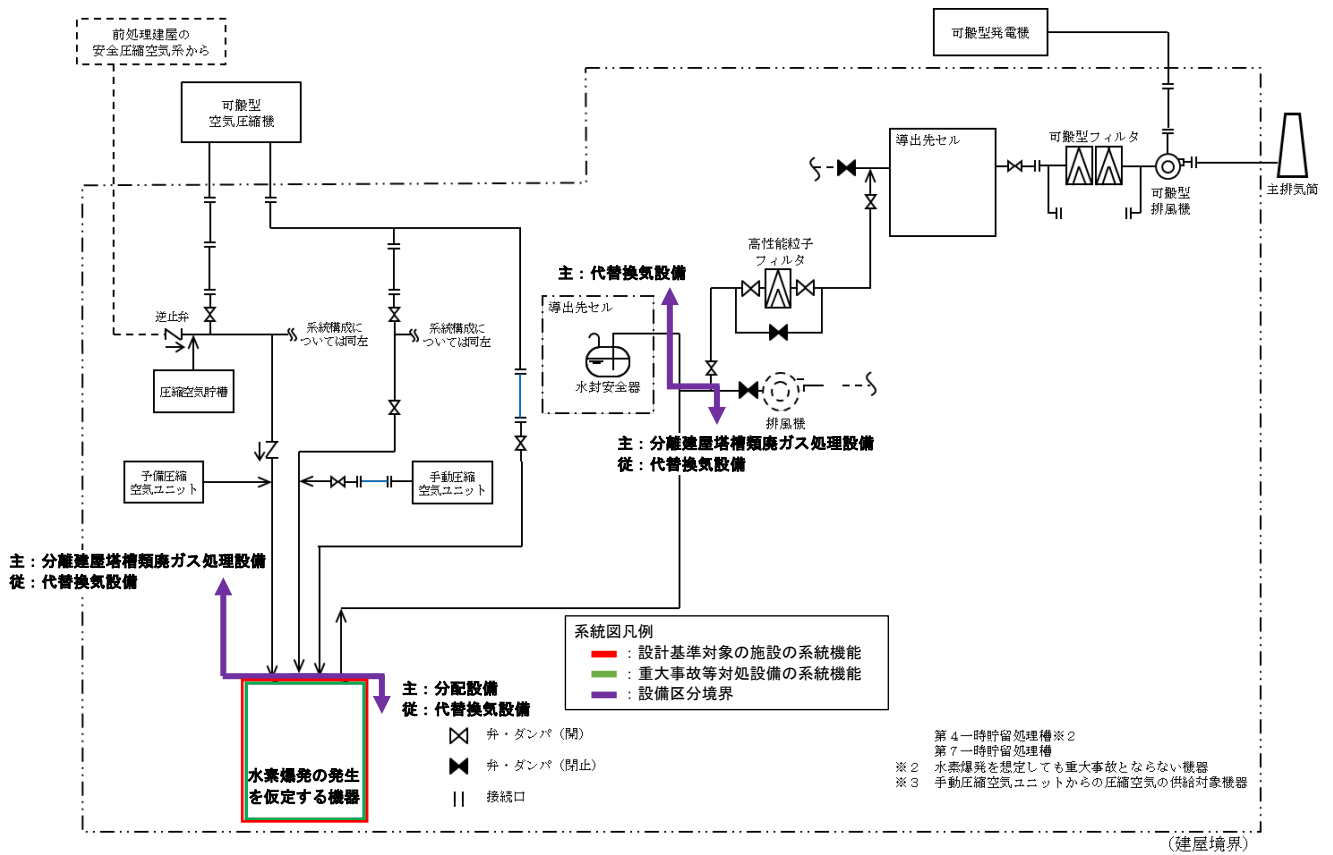
※2 水素爆発の発生を仮定する機器：プルトニウム溶液受槽、プルトニウム溶液中間貯槽

※3 代替換気設備

【セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応（管理放出：水素爆発）】に係る分配設備の主配管は、水素爆発の発生を仮定する機器と水素爆発の発生を仮定する機器の気相中に移行する放射性物質をセルに導出する経路の配管の取合いを、水素爆発の発生を仮定する機器の管台としているため、分配設備には【セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応（管理放出：水素爆発）】に係る主配管は無い。

また、主流路のカッコ内設備の主要機器等は、「別紙 1-2-4-1-5 代替換気設備」に示す。

なお、代替換気設備内における放射性物質をセルに導出する経路の配管と分配設備との取合いは、水素爆発の発生を仮定する機器（プルトニウム溶液受槽、プルトニウム溶液中間貯槽）の管台（溶接線）とする。



第3-12図 代替換気設備（代替セル換気系） 系統概要図

(4) 留意事項

共通09本文に基づき、テストライン、バイパスライン、ベント・ドレンライン等については、主流路の対象としない。再処理施設の各設備に共通する、主流路として設定しない対象の基本的な考え方について、発電炉工認ガイドに示すものを参考として「別紙1-2-6 設計図書の記載に係る留意事項」に示す。

2. (3)にて整理した各条文の系統機能を担保している分離設備に係る主流路の範囲及び主流路としていない範囲の概要を第4-1図及び第4-1表に示す。

なお、主流路上に設置される弁、フィルタ等については、当該設備に要求される系統として機能、性能を達成するために仕様等で適合性を示す弁、フィルタ等は主要機器として抽出するが、それ以外の流路を形成する弁、フィルタ等である場合は主要機器として抽出しない。

上記以外の分配設備の特徴を踏まえた主流路を設定する上での留意事項について、以下に示す。

a. 主流路を設定しない範囲

分配設備において主流路と設定しない範囲及び理由を以下に示す。

- 分配設備のウラン濃縮缶凝縮液受槽からウラン逆抽出器までのラインは、逆抽出用硝酸の再利用ラインであり、漏えい時の影響が小さいため、当該設備を主流路と設定しない。(第4-1図参照)
- 分配設備のウラン精製設備から還元剤(ウラナス)供給ラインは、試薬等ユーティリティラインであり、漏えい時の影響が小さいため、当該設備を主流路と設定しない。(第4-1図参照)
- 分配設備の溶媒再生系(分離・分配系)への溶液移送ラインは、溶媒再利用ラインであり、漏えい時の影響が小さいため、当該設備を主流路と設定しない。(第4-1図参照)
- 分配設備のプルトニウム精製設備の逆抽出液受槽からの抽出廃液移送ラインは、溶液中に含まれる少量ウランの回収ラインであり、漏えい時の影響が小さいため、当該設備を主流路と設定しない。(第4-1図参照)

624

637

アルファベット記号、個別)は主流路としない理由分類を示す。
ベット記号に紐づく理由分類は第4-1表及び別紙1-2-6「設計図書の記載事項に係
項」の18.「再処理施設の各設備に共通する主配管にしない対象の考え方」で示す。
個別)の詳細については、本別紙 本文2.(4) 留意事項にて示す。

第1.2.3.2-1図
分配設備の系統図

図-ハ-1-2-1

J

第4-1図 分配設備に係る主流路の範囲及び主流路としていない範囲の概要図

第4-1表 再処理施設の各設備に共通する主配管にしない対象の考え方
(別紙1-2-6 抜粋)

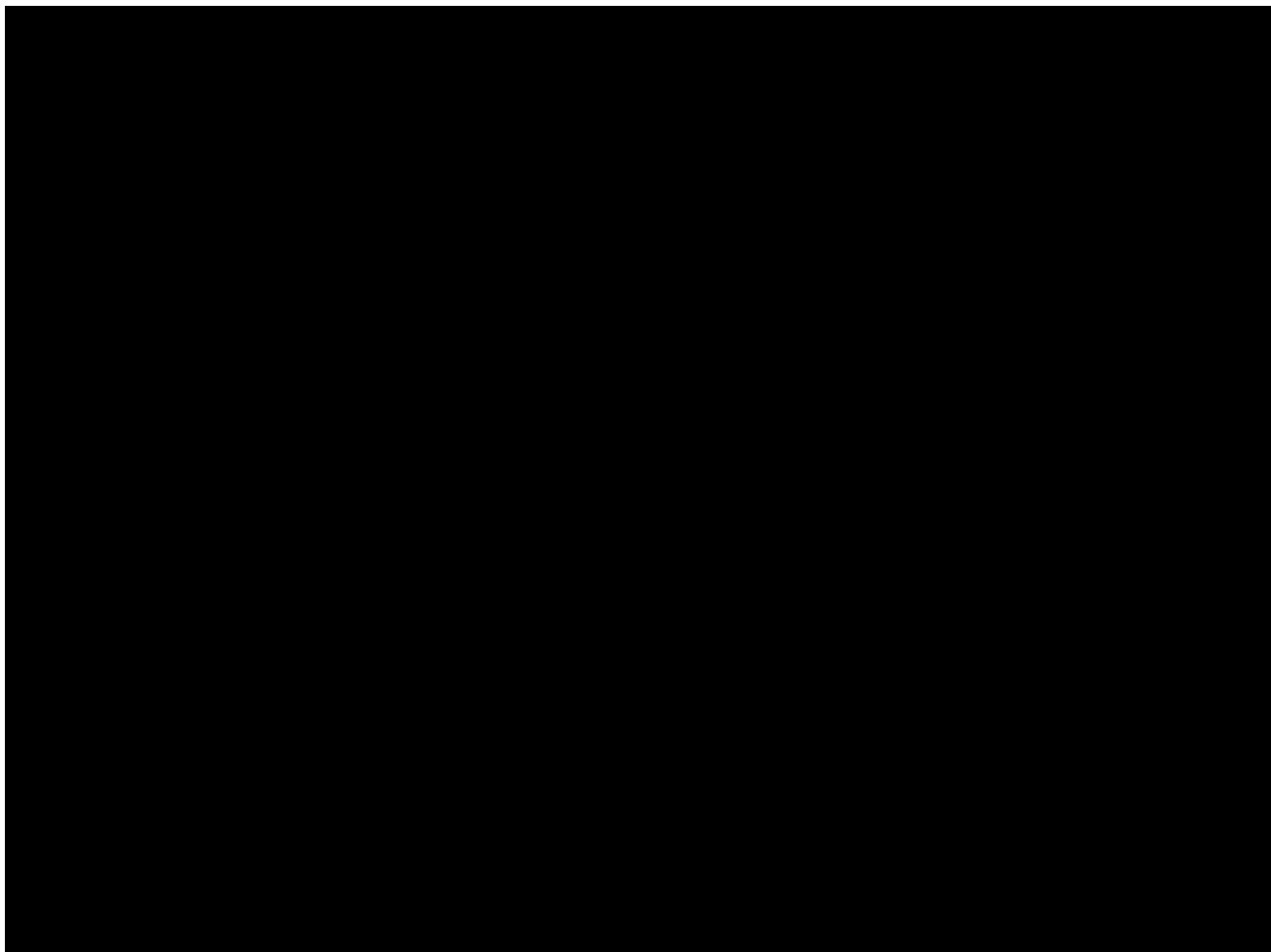
分類	主流路としない理由の種類	主流路としない対象	具体的理由
A	ドレン・ベントライン	<ul style="list-style-type: none"> ・通常液移送時又は保守時における系統内への液張り後における系統内の空気を抜くベントライン ・容器、ポンプ、弁等の機器の保守時における系統内の溶液等を抜くためのドレンライン ・開放容器等の機器ベントライン ・系統に液張り（容器内への液張り、容器等シール部への液張り）を行う液張りライン ・機器等の保護の観点で設置するベントライン 	配管ラインに設置する機器の保守等を行うために使用するラインであるため主流路としない。
B	バイパスライン	<ul style="list-style-type: none"> ・計器（流量計）の保守時に使用するバイパスライン ・容器、スチームトラップ、弁、フィルタ等の保守時に使用するバイパスライン 	
C	テストライン	<ul style="list-style-type: none"> ・保守時において試験を行う際に試験機器等を接続する試験ノズル ・保守時における系統試験を行うためのテストライン 	
D	除染・洗浄ライン	<ul style="list-style-type: none"> ・保守時・停止時における機器等の除染・洗浄を行う除染・洗浄ライン 	
E	ミニマムフローライン	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ安定運転のためのミニマムフロー（逃がし）ライン 	機器故障を防止するために使用するラインであるため、主流路としない。
F	オーバーフローライン	<ul style="list-style-type: none"> ・万が一、容器等で溢れた流体を系統又は建屋内に保持するためのオーバーフローライン 	機器故障等で万が一使用する非正常ラインであるため、主流路としない。
G	循環（攪拌）ライン	<ul style="list-style-type: none"> ・溶液等のポンプ（動力ポンプ、エアリフト、スチームジェット、エアジェット、水ジェット）による攪拌ライン ・圧縮空気（かくはん用空気によるバルセータ含む）による攪拌ライン ・熱交換器、デミスタ、ミストフィルタ等で凝縮した凝縮水を回収する循環ライン 	<p>溶液等均質化を目的として使用するラインであるため主流路としない。</p> <p>熱交換により発生する凝縮水を回収（循環）する目的で使用するラインであるため主流路としない。</p>
H	サンプリングライン	<ul style="list-style-type: none"> ・万が一基準値を満たさない流体等が発生した場合又は再利用を目的として前工程へ移送して処理を行うための循環ライン ・万が一室等へ低レベル等の溶液が漏えいした場合に貯槽へ移送して処理を行うための循環ライン 	再利用を目的として使用するラインであるため主流路としない。
I	計装ライン	<ul style="list-style-type: none"> ・分析試料を採取するためのサンプリングライン ・放管用の試料を採取するためのサンプリングライン ・プロセス量の計測を行うための検出配管、計装導圧配管、チュービング（計装用空気配管）、ガイドパイプ 	少量の分析試料を分析試料採取装置で採取するためにしようするラインであるため主流路とし、計装配管及び計装信号ラインであり、主流路としない。
J	機器駆動用サポートライン (スチームジェットポンプ等の安全機能に関係するものを除く)	<ul style="list-style-type: none"> ・エアリフト、サイホン、ゲデオン、スチームジェット、フルイディックポンプ、MERC交換型遠心ポンプ等の起動・停止に使用する真空ライン、真空破壊ライン、駆動用空気ライン、呼び水ライン、排気ライン 	機器駆動用システムに付随するサポート系ラインであり、主流路としない。
K	小型機器等からの排気ライン	<ul style="list-style-type: none"> ・小型ポット、サンプリングボックス、各室、機器駆動用サポートラインからの排気ライン 	廃棄、換気及び閉じ込め機能を担保する主要な機器（容器、グローブボックス、フード等）からの排気ラインでないため、主流路としない。
L	液調整、置換、保守等を行うための一般ユーティリティライン (安全機能に関係するものを除く)	<ul style="list-style-type: none"> ・運転用、液調整、系統内置換等を行うための試薬、水、空気等の放射性物質等を含まない一般ユーティリティライン（水、空気、蒸気、試薬） ・流路を形成するために必要な機器に供給する一般ユーティリティライン（水、空気、蒸気、試薬） ・保守時における詰まりを除去するためのアイスプラグを形成するために使用する一般ユーティリティライン 	通常運転、保守時に供給する一般ユーティリティラインであるため、主流路としない。
M	崩壊熱除去評価対象外の貯槽等への安全冷却水供給ライン	<ul style="list-style-type: none"> ・崩壊熱除去評価対象外であり、安全上重要な施設の安全機能の支援*に係らない貯槽、冷凍機等への安全冷却水を供給するライン <p>*安全空気圧縮装置、非常用ディーゼル発電機、高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備のセル内クーラー等へ安全冷却水を供給する系統は主流路</p>	崩壊熱除去機能及び安全上重要な施設の安全機能支援を担保する主要な機器（容器、熱交換器等）へ安全冷却水を供給するラインでないため、主流路としない。
N	将来増設用ライン (安全機能に影響するものを除く)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全機能に影響しない将来増設用として設置しているライン 	安全機能に関係しない機器等の将来増設用ラインであり、主流路としない。
O	換気設備の給気系ライン	<ul style="list-style-type: none"> ・外気取り入れ口から送風機を經由して各室まで送風するライン 	廃棄、換気及び閉じ込め機能に係らない換気・空調用のラインであり、主流路としない。
個別	分類A～Nの共通な理由以外のライン	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙1-2 本文2. (4)に記載の対象。 	別紙1-2 本文2. (4)に記載の理由。

b. 主要機器として抽出しない範囲

(a) 漏えい液回収ライン中の [REDACTED] (第4-2図)

セルに設置している漏えい液受皿から重力流で回収するラインに設置している [REDACTED] がある。

漏えい検知機能は回収先の漏えい液受皿の漏えい検知装置に期待しており、 [REDACTED] [REDACTED] には漏えい液の回収経路の維持として、配管と同等の強度が求められることから、主要機器（容器）としては抽出せずに配管の一部として扱う。

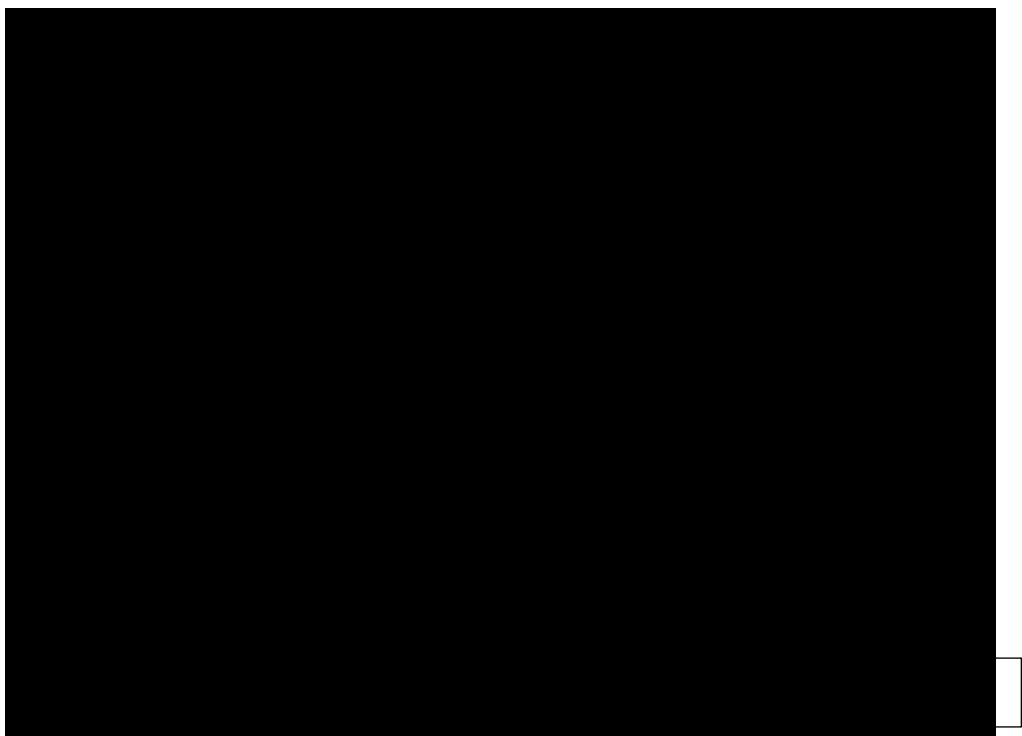


第4-2図 漏えい液ライン中に設置している [REDACTED]

(b) プルトニウムを含む溶液の移送ラインに設置する [REDACTED]
(第4-3図)

[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

主流路中に設置する [REDACTED] は、 [REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]、主要機器（容器）としては抽出せずに配管の一部として扱う。



第4-3図 主流路中に設置している [REDACTED]

3. 要求される耐震クラスの考え方

申請対象設備の耐震クラスの整理は、事業変更許可申請書の「添付書類六 第1.6-1表 クラス別施設」、「添付書類六 第1.6-5表 重大事故等対処設備（主要設備）の設備分類」、「添付書類六 第1.7.18-1表 主要な重大事故等対処設備の設備分類」及び「添付書類六 第1.7.18-3表 安全機能に対する設備の耐震設計」（以下、「クラス別施設等」という。）を踏まえて実施する。

分配設備に係る申請対象設備の耐震クラスの全体像を第5-1図に示す。

<安全機能を有する施設の主配管の耐震設計>

条文	系統機能	主配管名称	安全機能を有する施設		
			S	B/C	1.2Ss
第10条：閉じ込めの機能	放射性物質の保持機能	主配管（溶液保持系）	○	○	○
	セル等の漏えい拡大防止及び漏えい液回収	主配管（漏えい液回収系）	○	—	—
	室等の漏えい拡大防止	主配管（漏えい拡大防止系）	—	○	—
	放射性物質を保持する系統の負圧維持	主配管（廃ガス処理系）	○	—	—
	設計基準事故時における閉じ込め機能				
第24条：廃棄施設	放射性気体廃棄物の処理及び排気				
第11条・第35条：火災等による損傷の防止	Pu溶液又はHAW溶液を保有する貯槽の水素掃気	主配管（水素掃気系）	○	—	—

<安全機能を有する施設の凡例>

S：耐震Sクラス（耐震重要施設）

B/C：耐震B/Cクラス

1.2Ss：基準地震動Ssを1.2倍した地震力に対して必要な設計基準対象の施設の安全機能が損なわれない施設

<重大事故等対処設備の主配管の耐震設計>

条文	系統機能	主配管名称	重大事故等対処設備				
			代S	代B/C	代無S	代無B/C	1.2Ss
第39条：冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処するための設備	貯槽等への注水	主配管（貯槽等注水系）	○	—	—	—	○
第40条：放射線分解により発生する水素による爆発に対処するための設備	水素爆発を未然に防止するための空気供給	主配管（未然防止掃気系）	○	—	—	—	○
	水素爆発の再発を防止するための空気供給	主配管（再発防止掃気系）	（主配管無し）				
	セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応（管理放出：水素爆発）	主配管（水素対策用セル導出系）	（主配管無し）				

<凡例>

代S：安全機能を有する施設（耐震Sクラス）の機能を代替する重大事故等対処設備

代B/C：安全機能を有する施設（耐震B/Cクラス）の機能を代替する重大事故等対処設備

代無S：代替する安全機能が無い重大事故等対処設備（耐震Sクラス）

代無B/C：代替する安全機能が無い重大事故等対処設備（耐震B/Cクラス）

1. 2Ss：基準地震動Ssを1.2倍した地震力に対して必要な機能を維持する重大事故等対処設備

主配管を設定した範囲の耐震設計は、クラス別施設等に示す主要機器の耐震設計に準じた設計を原則とし、安全上重要な施設の安全機能を確保する上で必要な主配管の範囲が耐震Sクラス、それ以外の主配管の範囲は耐震B/Cクラスである。また、【放射性物質の保持機能】を担う主配管（溶液保持系）からの漏えいにより、重大事故等が発生しないように、基準地震動Ssを1.2倍した地震力に対して必要な設計基準対象の施設の安全機能が損なわれない設計とする。

分配設備と一部兼用する重大事故等対処設備であって、地震を要因とした重大事故等時において機能を期待する代替安全冷却水系等の主配管は、常設耐震重要重大事故等対処設備とし、基準地震動Ssを1.2倍した地震力に対して必要な機能が維持できる設計とする。

分配設備の機器のクラス別施設、設備分類、安全機能に対する設備の耐震設計を以下に示す。

添付書類六 第1.6-1表 クラス別施設 抜粋（1/9）

(つづき)

耐震クラス	クラス別施設	主要設備等 (注1) (注9)			補助設備 (注2)		直接支持構造物 (注3)		間接支持構造物 (注4) (注10)		波及的影響を考慮すべき設備 (注5)
		施設名	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	適用範囲	
S	4) プルトニウムを含む溶液を内蔵する系統及び機器	溶解施設	溶解槽（連続式） 第1よう素追出し槽 第2よう素追出し槽 中間ポット 清澄機（遠心式） 中継槽 リサイクル槽 計量前中間貯槽 計量・調整槽 計量補助槽 計量後中間貯槽 ハル洗浄槽 水バフア槽	S S S S S S S S S S S S S	冷却水設備安全冷却水系 第2非常用ディーゼル発電機 第2非常用蓄電池 可溶性中性子吸収材緊急供給回路及びセン断停止回路 可溶性中性子吸収材緊急供給系	S S S S S	機器等の支持構造物	S	前処理建屋 非常用電源建屋 制御建屋		
		分離施設	抽出塔 第1洗浄塔 第2洗浄塔 溶解液中間貯槽 溶解液供給槽 プルトニウム分配塔 ウラン洗浄塔 プルトニウム溶液 TBP洗浄器 プルトニウム溶液受槽 プルトニウム溶液中間貯槽 第1一時貯留処理槽 第2一時貯留処理槽 第3一時貯留処理槽 第7一時貯留処理槽 第8一時貯留処理槽 プルトニウム洗浄器 第9一時貯留処理槽 第10一時貯留処理槽	S S S S S S S S S S S S S S S S S S S	冷却水設備安全冷却水系 第2非常用ディーゼル発電機 第2非常用蓄電池	S S S S	機器等の支持構造物	S	分離建屋 非常用電源建屋 制御建屋		

6-1-291

添付書類六 第1.6-1表 クラス別施設 抜粋(2/9)

(つづき)

耐震クラス	クラス別施設	主要設備等 (注1) (注9)			補助設備 (注2)		直接支持構造物 (注3)		間接支持構造物 (注4) (注10)	波及的影響を考慮すべき設備 (注5)
		施設名	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	適用範囲
S	4) プルトニウムを含む溶液を内蔵する系統及び機器 (つづき)	脱硝施設	硝酸プルトニウム貯槽 混合槽 一時貯槽 定量ポット 中間ポット 脱硝装置	S S S S S S	冷却水設備安全冷却水系 第2非常用ディーゼル発電機 第2非常用蓄電池	S S S	機器等の支持構造物	S	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 非常用電源建屋 制御建屋	グローブボックス(定量ポット、中間ポット及び脱硝装置)(注12)
		酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備 第1洗浄器	S			機器等の支持構造物	S	分離建屋	
	5) 上記3)及び4)の系統及び機器から放射性物質が漏えいした場合に、その影響の拡大を防止するための施設	セル等	高レベル放射性液体廃棄物又はプルトニウムを含む溶液を内蔵するSクラスの系統及び機器を収納するセル、グローブボックス及び配管収納容器並びにせん断セル(注12)	S						
	その他再処理設備の附属施設	蒸気供給設備安全蒸気系	S	第2非常用ディーゼル発電機 第2非常用蓄電池	S S	機器等の支持構造物	S	前処理建屋 分離建屋 高レベル廃液ガラス固化建屋 非常用電源建屋 制御建屋		

6-1-293

添付書類六 第1.6-1表 クラス別施設 抜粋(3/9)

(つづき)

耐震クラス	クラス別施設	主要設備等 (注1) (注9)			補助設備 (注2)		直接支持構造物 (注3)		間接支持構造物 (注4) (注10)	波及的影響を考慮すべき設備 (注5)
		施設名	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	適用範囲
S	7) 上記1)~6)の施設の機能を確保するための設備(非常用所内電源系統、安全圧縮空気系、安全蒸気系及び安全冷却水系)	その他再処理設備の附属施設	非常用所内電源系統 第1非常用ディーゼル発電機 第1非常用蓄電池 重油タンク 第2非常用ディーゼル発電機 第2非常用蓄電池 燃料油貯蔵タンク 安全圧縮空気系 空気圧縮機 空気貯槽 安全蒸気系 ボイラ 安全冷却水系 冷却塔 冷却水循環ポンプ	S S S S S S S S S S S S S			機器等の支持構造物	S	使用済燃料受入れ・貯蔵建屋 前処理建屋 分離建屋 精製建屋 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 高レベル廃液ガラス固化建屋 非常用電源建屋 制御建屋 通道	北換気筒(注13)

6-1-296

添付書類六 第1.6-1表 クラス別施設 抜粋(4/9)

(つづき)

耐震 クラス	クラス別施設	主要設備等 (注1)			補助設備 (注2)		直接支持構造物 (注3)		間接支持構造物 (注4) (注10)		波及的影響を考慮すべき設備 (注5)
		施設名	適用範囲	耐震 クラス	適用範囲	耐震 クラス	適用範囲	耐震 クラス	適用範囲	適用範囲	
S	7) 上記1)~6)の施設の機能を確保するための設備(安全保護回路及び保護動作を行う機器)	-	高レベル廃液濃縮缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路及び遮断弁	S			機器等の支持構造物	S	前処理建屋 分離建屋 精製建屋 高レベル廃液ガラス固化建屋 制御建屋		
			分離施設のウラン濃縮缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路及び遮断弁	S							
			プルトニウム濃縮缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路及び遮断弁	S							
			第2酸回収系の蒸発缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路及び遮断弁	S							
			可溶性中性子吸収材緊急供給回路及びせん断停止回路並びに可溶性中性子吸収材緊急供給系	S							
			固化セル移送台車上の質量高によるガラス流下停止回路及びガラス溶融炉の流下機構系	S							
			プルトニウム洗浄器中性子検出器の計数率高による工程停止回路及び遮断弁	S							
			高レベル廃液濃縮缶凝縮器排気出口温度高による加熱停止回路	S							
			固化セル圧力高による固化セル隔離ダンパの閉止回路及び固化セル隔離ダンパ	S							

6-1-297

添付書類六 第1.6-1表 クラス別施設 抜粋(5/9)

(つづき)

耐震クラス	クラス別施設	主要設備等			補助設備		直接支持構造物		間接支持構造物		波及的影響を考慮すべき設備
		施設名	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	
S	7) 上記1)~6)の施設の機能を確保するための設備 (安全上重要な施設の漏えい液を受ける漏えい液受皿の集液溝の液位警報及び漏えい液受皿から漏えい液を回収するための系統のうち安全上重要な施設)	-	以下のセルの漏えい液受皿の集液溝の液位警報及び漏えい液受皿から漏えい液を回収するための系統	S			機器等の支持構造物	S	前処理建屋 分離建屋 精製建屋 制御建屋		
			前処理建屋 溶解槽セル 中継槽セル 清澄機セル 計量・調整槽セル 計量後中間貯槽セル 放射性配管分岐第1セル 放射性配管分岐第4セル 分離建屋 溶解液中間貯槽セル 溶解液供給槽セル 抽出セル ブルトニウム洗浄器セル 抽出廃液受槽セル 抽出廃液供給槽セル 分離建屋一時貯留処理槽第1セル 分離建屋一時貯留処理槽第2セル 放射性配管分岐第2セル 高レベル廃液供給槽セル 精製建屋 ブルトニウム濃縮液受槽セル ブルトニウム濃縮液一時貯槽セル ブルトニウム濃縮液計量槽セル								

6-1-298

添付書類六 第1.6-1表 クラス別施設 抜粋(6/9)

(つづき)

耐震クラス	クラス別施設	主要設備等			補助設備		直接支持構造物		間接支持構造物		波及的影響を考慮すべき設備
		施設名	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	
S	8) その他の施設 (機能喪失により臨界に至る可能性のある計測制御系統施設に係る安全上重要な施設)	-	燃料せん断長位置異常によるせん断停止回路 エンドピースせん断位置異常によるせん断停止回路 溶解槽溶解液密度高によるせん断停止回路 第1よう素追出し槽及び第2よう素追出し槽の溶解液密度高による警報 エンドピース酸洗浄槽洗浄液密度高によるせん断停止回路 ブルトニウム洗浄器 アルファ線検出器の故障警報及び工程停止回路(分離施設) ブルトニウム濃縮器 アルファ線検出器の故障警報及び工程停止回路(精製施設)	S S S S S S S S			機器等の支持構造物	S	前処理建屋 分離建屋 精製建屋 制御建屋		

6-1-301

添付書類六 第1.6-1表 クラス別施設 抜粋(7/9)

(つづき)

耐震 クラス	クラス別施設	主要設備等 (注1)			補助設備 (注2)		直接支持構造物 (注3)		間接支持構造物 (注4) (注10)		波及的影響を考慮すべき設備 (注5)
		施設名	適用範囲	耐震	適用範囲	耐震	適用範囲	耐震	適用範囲	適用範囲	適用範囲
				クラス		クラス		クラス			
B	2) 放射性物質を内蔵している施設であって、Sクラスに属さない施設 (ただし内蔵量が少ないか又は貯蔵方式により、その破壊により公衆に与える放射線の影響が十分小さいものは除く)	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設	使用済燃料受入れ・貯蔵建屋天井クレーン 燃料取出し装置 燃料移送水中台車 燃料取扱装置 バスケット取扱装置 バスケット搬送機 プール水浄化系	B B B B B B			機器等の支持構造物	B	使用済燃料受入れ・貯蔵建屋		
		せん断処理施設	燃料横転クレーン せん断機	B B			機器等の支持構造物	B	前処理建屋		
		溶解施設	エンドピース酸洗浄槽	B			機器等の支持構造物	B	前処理建屋		
		分離施設	ウラン逆抽出器 ウラン溶液TBP洗浄器 ウラン濃縮缶	B B B			機器等の支持構造物	B	分離建屋		
		精製施設	抽出器 核分裂生成物洗浄器 逆抽出器 抽出廃液TBP洗浄器 ウラン溶液TBP洗浄器	B B B B B			機器等の支持構造物	B	精製建屋		

6-1-305

添付書類六 第1.6-1表 クラス別施設 抜粋(8/9)

(つづき)

耐震 クラス	クラス別施設	主要設備等 (注1)			補助設備 (注2)		直接支持構造物 (注3)		間接支持構造物 (注4) (注10)		波及的影響を考慮すべき設備 (注5)
		施設名	適用範囲	耐震	適用範囲	耐震	適用範囲	耐震	適用範囲	適用範囲	適用範囲
				クラス		クラス		クラス			
C	S、Bクラスに属さない施設	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設	使用済燃料輸送容器管理建屋天井クレーン 使用済燃料輸送容器移送台車 使用済燃料輸送容器保守設備	C C C			機器等の支持構造物	C	使用済燃料輸送容器管理建屋(注8) 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋		
		気体廃棄物の廃棄施設	S及びBクラス以外の塔槽型廃ガス処理設備及び換気設備	C			機器等の支持構造物	C			
		液体廃棄物の廃棄施設	第2放出貯槽 第2海洋放出ポンプ 海洋放出管 (第2海洋放出ポンプを経て第1海洋放出ポンプから導かれる海洋放出管との合流点までの範囲) 低レベル廃液処理設備 (MOX燃料加工施設との取合いに係る配管)	C C C C			機器等の支持構造物	C	使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋 低レベル廃液処理建屋		

6-1-309

添付書類六 第1.6-1表 クラス別施設 抜粋(9/9)

- (注1) 主要設備等とは、当該機能に直接的に関連する設備及び構築物をいう。
- (注2) 補助設備とは、当該機能に間接的に関連し、主要設備等の補助的役割を持つ設備をいう。
- (注3) 直接支持構造物とは、主要設備等、補助設備に直接取り付けられる支持構造物、又はこれらの設備の荷重を直接的に受ける支持構造物をいう。
- (注4) 間接支持構造物とは、直接支持構造物から伝達される荷重を受ける構造物(建物・構築物)をいう。
- (注5) 波及的影響を考慮すべき設備とは、下位の耐震クラスに属するものの破損によって上位の分類に属するものに波及的影響を及ぼすおそれのある設備であり、主要設備等に適用される地震力により、上位の分類に属するものに波及的影響を及ぼさないように設計する。
- (注6) 第1切断装置は、固体廃棄物の廃棄施設であるが、燃料貯蔵設備のチャンネルボックス・バーナブルポイズン取扱ピットに設置しているため、当該ピットへの波及的影響を考慮すべき設備として、本欄に記載するものとする。
- (注7) 第1ガラス固化体貯蔵建屋床面走行クレーンはBクラスであるが、Sクラスの遮蔽容器と一体構造のため、Sクラス施設に適用される地震力に対し、耐えるように設計する。
- (注8) 使用済燃料輸送容器管理建屋の使用済燃料収納使用済燃料輸送容器保管庫及びトレーラエリアは、輸送容器に波及的破損を与えないよう設計する。
- (注9) 溶解設備のハル洗浄槽、水バフファ槽、分配設備のプルトニウム洗浄器、分離建屋一時貯留処理設備の第5一時貯留処理槽、第9一時貯留処理槽、第10一時貯留処理槽、精製建屋一時貯留処理設備の第4一時貯留処理槽及び溶媒回収設備の溶媒再生系分離・分配系の第1洗浄器はBクラスであるが、溶液の放射線分解により発生する水素の爆発を適切に防止するため、Sクラスとする。
- (注10) 使用済燃料輸送容器管理建屋の除染エリア、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン脱硝建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋、高レベル廃液ガラス固化建屋、第1ガラス固化体貯蔵建屋、低レベル廃液処理建屋、低レベル廃棄物処理建屋、チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋、ハル・エンドピース貯蔵建屋、第2低レベル廃棄物貯蔵建屋及び統合建屋の遮蔽設備はBクラスとする。
- (注11) プルトニウムを含む溶液を内蔵する系統及び機器でSクラスとする設備のうち、臨界の発生防止の観点で形状寸法管理を行う設備は、溶解設備の溶解槽(連続式)からウラン・プルトニウム混合脱硝設備の混合槽に至るプルトニウム溶液の主要な流れに位置する設備並びにプルトニウム精製設備のプルトニウム溶液一時貯槽、プルトニウム濃縮液一時貯槽、リサイクル槽、希釈槽、分離建屋一時貯留処理設備の第1一時貯留処理槽、第2一時貯留処理槽、第7一時貯留処理槽、第8一時貯留処理槽、精製建屋一時貯留処理設備の第1一時貯留処理槽、第2一時貯留処理槽、第3一時貯留処理槽及びウラン・プルトニウム混合脱硝設備の一時貯槽とする。また、これらの設備はプルトニウムを含む溶液を内蔵する機器としてもSクラスに属する設備であり、これらを収納するセル等もSクラスとする。
- (注12) ウラン・プルトニウム混合脱硝設備の起重ホット、中間ホット及び破砕装置のクローブボックスは、損傷により生じる放射線の影響が小さいためBクラスとする。ただし、収納するSクラスの機器へ波及的影響を与えないようSクラス施設に適用される地震力に対し、耐えるように設計する。
- (注13) 北換気筒はCクラスであるが、Sクラスの冷却塔へ波及的影響を与えないようSクラス施設に適用される地震力に対し、耐えるように設計する。

添付書類六 第1.6-5表
重大事故等対処設備（主要設備）の設備分類 抜粋（1/2）

6-1-317

系統機能	設備		設備分類	直後支持構造物		間接支持構造物		種別・構築物									
	設備名称	構成する機器		設備	設備分類	設備	設備分類										
高圧ケーブル遮断による停電	代替安全冷却水系	内部ケーブル配置・弁	安全冷却水系	S	常設耐震重要度大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度大事故等対処設備	放射線遮蔽、分離遮蔽、特殊遮蔽、クラン・ブルトーム適合設備構築、高レベル放射ガスの回収設備	5a								
		冷却コイル配置・弁															
		冷却ジャケット配置・弁															
		冷却水戻り水配管・弁															
本機設備	第1貯水罐	第41条に記載															
貯留罐への注水	代替安全冷却水系	機器注水配管・弁	安全冷却水系	S	常設耐震重要度大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度大事故等対処設備	放射線遮蔽、分離遮蔽、特殊遮蔽、クラン・ブルトーム適合設備構築、高レベル放射ガスの回収設備	5a								
		冷却水戻り水配管・弁															
		冷却コイル配置・弁															
		冷却ジャケット配置・弁															
本機設備	第1貯水罐	第41条に記載															
高圧コイル等への遮断による停電	代替安全冷却水系	冷却コイル配置・弁	安全冷却水系	S	常設耐震重要度大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度大事故等対処設備	放射線遮蔽、分離遮蔽、特殊遮蔽、クラン・ブルトーム適合設備構築、高レベル放射ガスの回収設備	5a								
		冷却ジャケット配置・弁															
		冷却水戻り水配管・弁															
		冷却水戻り水配管・弁															
本機設備	第1貯水罐	第41条に記載															
セカンド回路の遮断及び代替セル排気系による対応	セル排気設備	配管・弁	格納罐内ガス処理設備	S	常設耐震重要度大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度大事故等対処設備	放射線遮蔽、分離遮蔽、特殊遮蔽、クラン・ブルトーム適合設備構築、高レベル放射ガスの回収設備	5a								
		隔離弁															
		格納罐内ガス処理設備からセルに導出するユニット															
		セル導出ユニットフィルタ															
		凝縮器															
		下層凝縮器															
		高レベル放射線圧縮機															
		第1エレクトロニクス凝縮器															
		圧縮機															
		凝縮器回収系															
		ダクト・ダンプ															
		代替安全冷却水系								冷却水戻り水配管・弁	安全冷却水系	S	常設耐震重要度大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度大事故等対処設備	放射線遮蔽、分離遮蔽、特殊遮蔽、クラン・ブルトーム適合設備構築、高レベル放射ガスの回収設備	5a
		冷却水戻り水配管・弁（凝縮器側）															
		本機設備								第1貯水罐	第41条に記載						
代替セル排気系	セル排気設備	ダクト・ダンプ	格納罐内ガス処理設備	S	常設耐震重要度大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度大事故等対処設備	放射線遮蔽、分離遮蔽、特殊遮蔽、クラン・ブルトーム適合設備構築、高レベル放射ガスの回収設備、排気	5a								
		圧縮機-排気するユニット															
		圧縮機															
			(注釈)	(S)	常設耐震重要度大事故等対処設備	-	-	支持構造、基礎	5a								

添付書類六 第1.6-5表
重大事故等対処設備（主要設備）の設備分類 抜粋（2/2）

6-1-318

系統機能	設備		設備分類	直後支持構造物		間接支持構造物		種別・構築物									
	設備名称	構成する機器		設備	設備分類	設備	設備分類										
格納罐内ガス処理による停電	代替安全冷却水系	機器注水配管・弁	安全冷却水系	S	常設耐震重要度大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度大事故等対処設備	放射線遮蔽、分離遮蔽、特殊遮蔽、クラン・ブルトーム適合設備構築、高レベル放射ガスの回収設備	5a								
		冷却コイル配置・弁															
		冷却ジャケット配置・弁															
		冷却水戻り水配管・弁															
		冷却水戻り水配管・弁															
本機設備	第1貯水罐	第41条に記載															
格納罐内ガス処理による停電	代替安全冷却水系	機器注水配管・弁	安全冷却水系	S	常設耐震重要度大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度大事故等対処設備	放射線遮蔽、分離遮蔽、特殊遮蔽、クラン・ブルトーム適合設備構築、高レベル放射ガスの回収設備	5a								
		冷却水戻り水配管・弁															
		冷却ジャケット配置・弁															
		冷却水戻り水配管・弁															
		冷却水戻り水配管・弁															
本機設備	第1貯水罐	第41条に記載															
セカンド回路の遮断及び代替セル排気系による対応	セル排気設備	配管・弁	格納罐内ガス処理設備	S	常設耐震重要度大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度大事故等対処設備	放射線遮蔽、分離遮蔽、特殊遮蔽、クラン・ブルトーム適合設備構築、高レベル放射ガスの回収設備	5a								
		隔離弁															
		格納罐内ガス処理設備からセルに導出するユニット															
		セル導出ユニットフィルタ															
		凝縮器															
		下層凝縮器															
		高レベル放射線圧縮機															
		第1エレクトロニクス凝縮器															
		圧縮機															
		凝縮器回収系															
		ダクト・ダンプ															
		代替安全冷却水系								冷却水戻り水配管・弁	安全冷却水系	S	常設耐震重要度大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度大事故等対処設備	放射線遮蔽、分離遮蔽、特殊遮蔽、クラン・ブルトーム適合設備構築、高レベル放射ガスの回収設備、排気	5a
		冷却水戻り水配管・弁（凝縮器側）															
		本機設備								第1貯水罐	第41条に記載						
代替セル排気系	セル排気設備	ダクト・ダンプ	格納罐内ガス処理設備	S	常設耐震重要度大事故等対処設備	機器・配管等の支持構造物	常設耐震重要度大事故等対処設備	放射線遮蔽、分離遮蔽、特殊遮蔽、クラン・ブルトーム適合設備構築、高レベル放射ガスの回収設備、排気	5a								
		圧縮機-排気するユニット															
		圧縮機															
			(注釈)	(S)	常設耐震重要度大事故等対処設備	-	-	支持構造、基礎	5a								

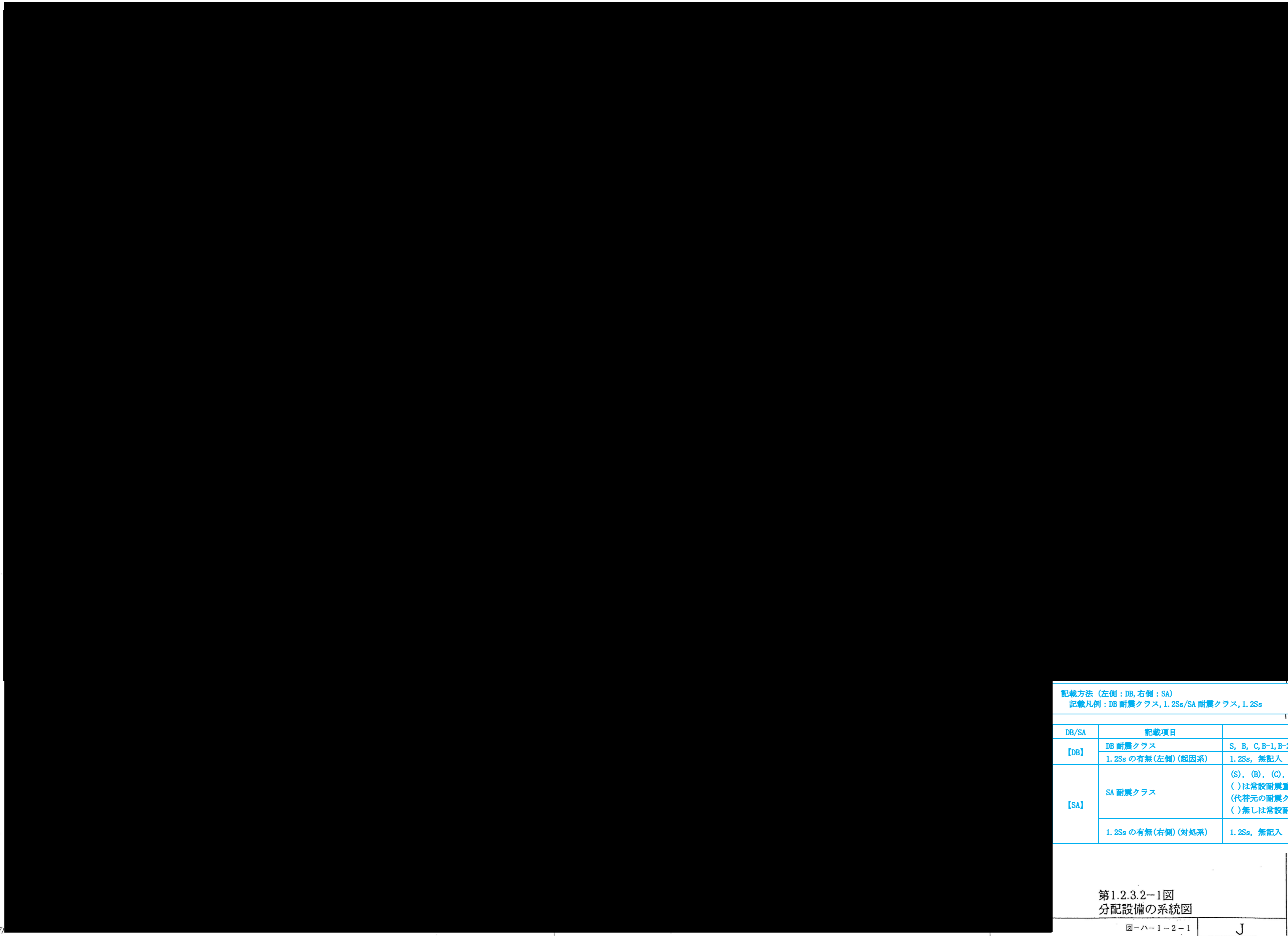
添付書類六 第1.7.18-1表
 主要な重大事故等対処設備の設備分類 抜粋

第1.7.18-1表 主要な重大事故等対処設備の設備分類										
系統機能	設備 設備名称	重大事故等 対処設備の分類 常設/可搬型	重大事故等					重大事故等対処設備の設置 保管場所 屋内と屋外の両方該当する場 合は「屋内・屋外」と併記	代替する機能を有する安全機能を有する施設	
			臨界事故	冷却機能 の喪失に よる蒸発 範囲	放射性分 解により 発生する 水素によ る爆発	有機溶媒 等による 火災又は 爆発	使用済溶 剤貯蔵槽 の冷却等 の機能の 喪失		安重/非安重	設備
重大事故等に対 処するための配 線、通水先、注 水先、供給先、 排出元等	溶解液中間貯槽	常設	-	○	○	-	-	屋内	安重	(溶解液中間貯槽)
	溶解液供給槽	常設	-	○	○	-	-	屋内	安重	(溶解液供給槽)
	抽出廃液受槽	常設	-	○	○	-	-	屋内	安重	(抽出廃液受槽)
	抽出廃液中間貯槽	常設	-	○	○	-	-	屋内	安重	(抽出廃液中間貯槽)
	抽出廃液供給槽	常設	-	○	○	-	-	屋内	安重	(抽出廃液供給槽)
	プルトニウム溶液受槽	常設	-	-	○	-	-	屋内	安重	(プルトニウム溶液受槽)
	プルトニウム溶液中間貯槽	常設	-	-	○	-	-	屋内	安重	(プルトニウム溶液中間貯槽)
	第1一時貯留処理槽	常設	-	○	-	-	-	屋内	安重	(第1一時貯留処理槽)
	第2一時貯留処理槽	常設	-	-	○	-	-	屋内	安重	(第2一時貯留処理槽)
	第3一時貯留処理槽	常設	-	○	○	-	-	屋内	安重	(第3一時貯留処理槽)
	第4一時貯留処理槽	常設	-	○	○	-	-	屋内	安重	(第4一時貯留処理槽)
	第6一時貯留処理槽	常設	-	○	-	-	-	屋内	安重	(第6一時貯留処理槽)

6-1-863

添付書類六 第1.7.18-3表
安全機能に対する設備の耐震設計 抜粋

建屋	対象設備	確保する機能等	評価対象
使用済燃料受入れ・貯蔵建屋	使用済燃料受入れ設備 燃料取出し設備	燃料置きラック	核的制限値（寸法）
	使用済燃料貯蔵設備 燃料貯蔵設備	燃料貯蔵ラック	核的制限値（寸法）
	使用済燃料貯蔵設備 燃料送出し設備	バスケット置き架台	落下・転倒防止
前処理建屋	溶解設備	溶解槽	放射性物質の漏えい防止
		第1よう素追出し槽	放射性物質の漏えい防止
		第2よう素追出し槽	放射性物質の漏えい防止
		中間ポット	放射性物質の漏えい防止
		ハル洗浄槽	放射性物質の漏えい防止
	水バフア槽	放射性物質の漏えい防止	
	清澄・計量設備	中継槽	放射性物質の漏えい防止
		清澄機	放射性物質の漏えい防止
		リサイクル槽	放射性物質の漏えい防止
		計量前中間貯槽	放射性物質の漏えい防止
		計量・調整槽	放射性物質の漏えい防止
		計量補助槽	放射性物質の漏えい防止
		計量後中間貯槽	放射性物質の漏えい防止
		不溶解残渣回収槽	放射性物質の漏えい防止
分解建屋		分解設備	溶解液中間貯槽
	溶解液供給槽		放射性物質の漏えい防止
	抽出塔		放射性物質の漏えい防止
	第1洗浄塔		放射性物質の漏えい防止
	第2洗浄塔		放射性物質の漏えい防止
	T B P 洗浄塔		放射性物質の漏えい防止
	抽出廃液受槽		放射性物質の漏えい防止
	抽出廃液中間貯槽		放射性物質の漏えい防止
	抽出廃液供給槽		放射性物質の漏えい防止
	分配設備	プルトニウム分配塔	放射性物質の漏えい防止
		ウラン洗浄塔	放射性物質の漏えい防止
		プルトニウム溶液 T B P 洗浄器	放射性物質の漏えい防止
		プルトニウム溶液受槽	放射性物質の漏えい防止
		プルトニウム溶液中間貯槽	放射性物質の漏えい防止
		プルトニウム洗浄器	放射性物質の漏えい防止
	分解建屋一時貯留処理設備	第1一時貯留処理槽	放射性物質の漏えい防止
		第2一時貯留処理槽	放射性物質の漏えい防止
		第3一時貯留処理槽	放射性物質の漏えい防止
		第7一時貯留処理槽	放射性物質の漏えい防止
第8一時貯留処理槽		放射性物質の漏えい防止	
第4一時貯留処理槽		放射性物質の漏えい防止	
第6一時貯留処理槽		放射性物質の漏えい防止	
第5一時貯留処理槽		放射性物質の漏えい防止	
第9一時貯留処理槽		放射性物質の漏えい防止	
第10一時貯留処理槽		放射性物質の漏えい防止	
高レベル廃液濃縮設備 高レベル廃液濃縮系	高レベル廃液供給槽	放射性物質の漏えい防止	
	高レベル廃液濃縮缶	放射性物質の漏えい防止	
溶媒回収設備 溶媒再生系 分解・分配系	第1洗浄器	放射性物質の漏えい防止	



記載方法（左側：DB, 右側：SA）
 記載凡例：DB 耐震クラス, 1.2Ss/SA 耐震クラス, 1.2Ss

DB/SA	記載項目	記載内容
【DB】	DB 耐震クラス	S, B, C, B-1, B-2, C-1, C-2
	1.2Ssの有無(左側)(起因系)	1.2Ss, 無記入
【SA】	SA 耐震クラス	(S), (B), (C), S, B, C ()は常設耐震重要重大事故等対処設備 (代替元の耐震クラスを記載) ()無しは常設耐震重要重大事故等対処設備以外
	1.2Ssの有無(右側)(対処系)	1.2Ss, 無記入

第1.2.3.2-1図
 分配設備の系統図

図-ハ-1-2-1

J

第5-1図 分配設備の耐震クラス範囲の概要図

4. 抽出結果

色塗りにて抽出した機器等のリスト(抽出リスト)、色塗り結果を「添付3」に示す。抽出結果を反映した申請対象設備リストを「添付2」に示す。

設計図書等を確認するにあたり、設計図書の記載に係る留意事項を「別紙1-2-6」に示す。

また、分配設備の設計図書等の色塗りについては、兼用設備があることから、設備範囲及び主流路となる範囲が明確になるように着色（設計基準対象の施設に係る系統機能は赤、重大事故等対処設備に係る系統機能は緑）する。

以 上

添付 1

別紙 2 機能要求②抜粋

(分配設備)

共通09 別紙 2 一覧参照

No.	名称
7	第 10 条：閉じ込めの機能
8	第 11 条・第 35 条：火災等による損傷の防止
30	第 40 条：放射線分解により発生する水素による爆発に対処するための設備

添付 2

申請対象設備リスト

(分配設備)

申請対象設備リスト (系統設備)
(1/2)

番号	施設区分			設備区分			機器名称(許可)	機器名称	機種	基本設計方針 紐付け番号	エビデンス 紐付け番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DR区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	
	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	プルトニウム洗浄器セル漏えい液受皿	容器	10条-6	機-03-19	AB	1	②-3	既設	安重	—	S/-	—	—		
	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	プルトニウム分配塔	プルトニウム分配塔	容器	10条-1 11条/35条-32	機-03-22	AB	1	②-3	既設	安重	—	S, 1. 2Ss/-	—	—		
	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	分配塔セル漏えい液受皿	容器	10条-6	機-03-23	AB	1	②-3	既設	安重	—	S/-	—	—		
	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	ウラン洗浄塔	ウラン洗浄塔	容器	10条-1 11条/35条-32	機-03-29	AB	1	②-3	既設	安重	—	S, 1. 2Ss/-	—	—		
	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	スチームジェットポンプ	プルトニウム洗浄器セル漏えい液受皿 スチームジェットポンプ	ポンプ	10条-8	機-03-32	AB	2	②-3	既設	安重	—	S/-	—	—		
	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	プルトニウム洗浄器セル漏えい液受皿	容器	10条-6, 8	機-03-33	AB	1	②-3	既設	安重	—	S/-	—	—		
	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	プルトニウム溶液 T B P 洗浄器	プルトニウム溶液 T B P 洗浄器	容器	10条-1	機-03-34	AB	1	②-3	既設	安重	—	S, 1. 2Ss/-	—	—		
	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	プルトニウム溶液受槽	プルトニウム溶液受槽	容器	10条-1 11条/35条-32 【代替換気設備】40 条-4, 5, 9, 32 【代替安全圧縮空気 系】40条- 7, 8, 9, 10, 14, 16, 17, 47	機-03-37	AB	1	②-3	既設	安重	常設SA	S, 1. 2Ss/ (S), 1. 2S s	主：分離設備 従：代替安全圧縮空気系 従：代替換気設備	—	—	
	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	プルトニウム溶液中間貯 槽	プルトニウム溶液中間貯槽	容器	10条-1 11条/35条-32 【代替換気設備】40 条-4, 5, 9, 32 【代替安全圧縮空気 系】40条- 7, 8, 9, 10, 14, 16, 17, 47	機-03-38	AB	1	②-3	既設	安重	常設SA	S, 1. 2Ss/ (S), 1. 2S s	主：分離設備 従：代替安全圧縮空気系 従：代替換気設備	—	—	
	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	プルトニウム溶液中間貯槽セル 漏えい液受皿	容器	10条-6	機-03-39	AB	1	②-3	既設	安重	—	S/-	—	—		
	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	プルトニウム洗浄器	プルトニウム洗浄器	容器	10条-1 11条/35条-32	機-03-43	AB	1	②-3	既設	非安重	—	S, 1. 2Ss/-	—	—		
	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	ウラン溶液 T B P 洗浄器	ウラン溶液 T B P 洗浄器	容器	10条-1 11条/35条-36	機-03-44	AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—		
	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	ウラン逆抽出器	ウラン逆抽出器	容器	10条-1	機-03-45	AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—		
	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	ウラン濃縮缶供給槽	ウラン濃縮缶供給槽	容器	10条-1 11条/35条-37	機-03-48	AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—		
	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	ウラン濃縮液受槽	ウラン濃縮液受槽	容器	10条-1	機-03-49	AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—		
	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	ウラン濃縮缶凝縮液受槽セル漏 えい液受皿	容器	10条-6	機-03-50	AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—		
	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	ウラン濃縮缶	ウラン濃縮缶	熱交換器	10条-1	機-03-51	AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—		
	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	ウラン濃縮缶セル漏えい液受皿	容器	10条-6	機-03-52	AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—		
	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	ウラン濃縮缶凝縮液受槽	ウラン濃縮缶凝縮液受槽	容器	10条-6	機-03-53	AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—		
	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	ウラン濃縮缶供給槽セル漏えい 液受皿	容器	10条-6	機-03-56	AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—		
	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	ウラン濃縮液受槽セル漏えい液 受皿	容器	10条-6	機-03-57	AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—		
	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	分配設備アルファモニタ第2セル 漏えい液受皿	容器	10条-6	機-03-58	AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—		
	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	分配設備アルファモニタ第3セル 漏えい液受皿	容器	10条-6	機-03-59	AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—		

申請対象設備リスト (系統設備)
(2/2)

番号	施設区分			設備区分			機器名称(許可)	機器名称	機種	基本設計方針 紐付け番号	エビデンス 紐付け番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DR区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	分配設備アルファモニタ第1セル 漏えい液受皿	容器	10条-6	機-03-60	AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—	—	
再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	分配設備ウラン・プルトニウム モニタセル漏えい液受皿	容器	10条-6	機-03-61	AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—	—	
再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	プルトニウム溶液中間貯槽セル 漏えい液受皿	容器	10条-6	機-03-62	AB	1	②-3	既設	安重	—	S/-	—	—	—	
再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	—	ウラン洗浄塔流量計測ボット/ウ ラン洗浄塔エアリフトポンプ パフファチューブ	容器	【代替安全冷却水 系】 99条-7, 10, 40	機-03-63	AB	1	②-3	既設	安重	常設SA	S, 1. 2Ss/(S), 1. 2S s	主：分配設備 従：代替安全冷却水系	—	—	
再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	分配設備	主配管 (溶液保持系)	主配管	10条-1	配-03-1	AB, AT, AC	一式	②-3	既設	安重	—	C/ B/ S/ S, 1. 2Ss/-	—	—	流体：プルトニウムを含む 溶液等	
再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	分配設備	主配管 (溶液保持系)	主配管	10条-1	配-03-2	AB, AT, AC	一式	②-3	既設	非安重	—	B/ S/-	—	—	流体：ウランを含む溶液等	
再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	分配設備	主配管 (廃ガス処理系)	主配管	10条-1, 14, 15 24条-3	配-03-3	AB	一式	②-3	既設	安重	—	S/ S, 1. 2Ss/-	—	—	流体：廃ガス	
再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	分配設備	主配管 (漏えい液回収系)	主配管	10条-8	配-03-4	AB	一式	②-3	既設	安重	—	S/-	—	—	流体：蒸気	
再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	分配設備	主配管 (漏えい液回収系)	主配管	10条-8	配-03-5	AB	一式	②-3	既設	安重	—	S/-	—	—	流体：プルトニウムを含む 溶液等	
再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	分配設備	主配管 (漏えい拡大防止系)	主配管	10条-6	配-03-6	AB	一式	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—	流体：ウラン溶液、洗浄廃 液等	
再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	分配設備	主配管 (漏えい液回収系)	主配管	10条-6	配-03-7	AB	一式	②-3	既設	安重	—	S/-	—	—	流体：プルトニウムを含む 溶液等	
再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	分配設備	主配管 (水素掃気系)	主配管	11条/35条-41	配-03-8	AB	一式	②-3	既設	安重	—	S/-	—	—	流体：圧縮空気	
再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	分配設備	主配管 (水素掃気系、未然防止掃 気系)	主配管	11条/35条-41 【代替安全圧縮空気 系】 40条-7, 17, 47	配-03-9	AB	一式	②-3	既設	安重	常設SA	S, 1. 2Ss/(S), 1. 2S s	主：分配設備 従：代替安全圧縮空気系	—	—	流体：圧縮空気

添付 3

申請対象設備抽出結果

(分配設備)

(1) 分配設備

抽出リスト (機器)
(1/2)

【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分			設備区分			機器名称(許可)	機器名称	機種	機器番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用(主従)	共用(主従)	備考
機-03-19	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	プルトニウム洗浄器セル漏えい液受皿	容器		AB	1	②-3	既設	安重	—	S/-	—	—	
機-03-22	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	プルトニウム分配塔	プルトニウム分配塔	容器		AB	1	②-3	既設	安重	—	S, 1.2Ss/-	—	—	
機-03-23	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	分配塔セル漏えい液受皿	容器		AB	1	②-3	既設	安重	—	S/-	—	—	
機-03-29	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	ウラン洗浄塔	ウラン洗浄塔	容器		AB	1	②-3	既設	安重	—	S, 1.2Ss/-	—	—	
機-03-32	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	スチームジェットポンプ	プルトニウム洗浄器セル漏えい液受皿 スチームジェットポンプ	ポンプ		AB	2	②-3	既設	安重	—	S/-	—	—	
機-03-33	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	プルトニウム洗浄器セル漏えい液受皿	容器		AB	1	②-3	既設	安重	—	S/-	—	—	
機-03-34	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	プルトニウム溶液 T B P 洗浄器	プルトニウム溶液 T B P 洗浄器	容器		AB	1	②-3	既設	安重	—	S, 1.2Ss/-	—	—	
機-03-37	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	プルトニウム溶液受槽	プルトニウム溶液受槽	容器		AB	1	②-3	既設	安重	常設SA	S, 1.2Ss/(S), 1.2Ss	主：分離設備 従：代替安全 圧縮空気系 従：代替換気 設備	—	
機-03-38	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	プルトニウム溶液中間 貯槽	プルトニウム溶液中間貯槽	容器		AB	1	②-3	既設	安重	常設SA	S, 1.2Ss/(S), 1.2Ss	主：分離設備 従：代替安全 圧縮空気系 従：代替換気 設備	—	
機-03-39	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	プルトニウム溶液中間貯槽セル 漏えい液受皿	容器		AB	1	②-3	既設	安重	—	S/-	—	—	
機-03-43	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	プルトニウム洗浄器	プルトニウム洗浄器	容器		AB	1	②-3	既設	非安重	—	S, 1.2Ss/-	—	—	
機-03-44	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	ウラン溶液 T B P 洗浄器	ウラン溶液 T B P 洗浄器	容器		AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—	
機-03-45	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	ウラン逆抽出器	ウラン逆抽出器	容器		AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—	
機-03-48	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	ウラン濃縮缶供給槽	ウラン濃縮缶供給槽	容器		AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—	

抽出リスト (機器)
(2/2)

【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分			設備区分			機器名称(許可)	機器名称	機種	機器番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用(主従)	共用(主従)	備考
機-03-49	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	ウラン濃縮液受槽	ウラン濃縮液受槽	容器		AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—	
機-03-50	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	ウラン濃縮缶凝縮液受槽セル漏えい液受皿	容器		AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—	
機-03-51	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	ウラン濃縮缶	ウラン濃縮缶	熱交換器		AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—	
機-03-52	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	ウラン濃縮缶セル漏えい液受皿	容器		AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—	
機-03-53	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	ウラン濃縮缶凝縮液受槽	ウラン濃縮缶凝縮液受槽	容器		AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—	
機-03-56	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	ウラン濃縮缶供給槽セル漏えい液受皿	容器		AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—	
機-03-57	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	ウラン濃縮液受槽セル漏えい液受皿	容器		AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—	
機-03-58	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	分配設備アルファモニタ第2セル漏えい液受皿	容器		AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—	
機-03-59	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	分配設備アルファモニタ第3セル漏えい液受皿	容器		AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—	
機-03-60	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	分配設備アルファモニタ第1セル漏えい液受皿	容器		AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—	
機-03-61	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	分配設備ウラン・プルトニウムモニタセル漏えい液受皿	容器		AB	1	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—	
機-03-62	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	漏えい液受皿	プルトニウム溶液中間貯槽セル漏えい液受皿	容器		AB	1	②-3	既設	安重	—	S/-	—	—	
機-03-63	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	—	ウラン洗浄塔流量計測ポット/ウラン洗浄塔エアリフトポンプパツファチューブ	容器		AB	1	②-3	既設	安重	常設SA	S, 1. 2Ss/(S), 1. 2Ss	主：分配設備 従：代替安全冷却水系	—	

抽出リスト (配管)
(1/1)

【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分			設備区分			機器名称(許可)	機器名称	機種	機器番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用(主従)	共用(主従)	備考
配-03-1	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	分配設備	主配管 (溶液保持系)	主配管	—	AB, AT, AC	一式	②-3	既設	安重	—	C/- B/- S/- S, 1.2Ss/-	—	—	流体：プルトニウムを含む溶液等
配-03-2	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	分配設備	主配管 (溶液保持系)	主配管	—	AB, AT, AC	一式	②-3	既設	非安重	—	B/- S/-	—	—	流体：ウランを含む溶液等
配-03-3	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	分配設備	主配管 (廃ガス処理系)	主配管	—	AB	一式	②-3	既設	安重	—	S/- S, 1.2Ss/-	—	—	流体：廃ガス
配-03-4	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	分配設備	主配管 (漏えい液回収系)	主配管	—	AB	一式	②-3	既設	安重	—	S/-	—	—	流体：蒸気
配-03-5	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	分配設備	主配管 (漏えい液回収系)	主配管	—	AB	一式	②-3	既設	安重	—	S/-	—	—	流体：プルトニウムを含む溶液等
配-03-6	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	分配設備	主配管 (漏えい拡大防止系)	主配管	—	AB	一式	②-3	既設	非安重	—	B/-	—	—	流体：ウラン溶液、洗浄廃液等
配-03-7	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	分配設備	主配管 (漏えい液回収系)	主配管	—	AB	一式	②-3	既設	安重	—	S/-	—	—	流体：プルトニウムを含む溶液等
配-03-8	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	分配設備	主配管 (水素掃気系)	主配管	—	AB	一式	②-3	既設	安重	—	S/-	—	—	流体：圧縮空気
配-03-9	再処理設備本体	分離施設	—	分配設備	—	—	分配設備	主配管 (水素掃気系, 未然防止掃気系)	主配管	—	AB	一式	②-3	既設	安重	常設SA	S, 1.2Ss/(S), 1.2Ss	主：分配設備 従：代替安全圧縮空気系	—	流体：圧縮空気

共通09 別紙1-2-2-3-2
分配設備（分離施設） ②-bの理由整理表

EFD NO.	別紙1-2-6 分類*	②-bの理由
1	D, J, L	一般系のユーティリティラインであり主流路としない(SA対処設備以外)
2	I, L	ガイドパイプ、計装用の配管(SA対処設備以外)、信号等であり流路ではない
3	K	閉じ込め機能を有する仕様表対象容器の排気ラインではないため主流路としない
4	A	洗浄水の排水時に使用する配管であり主流路としない
5	G	デミスタ、凝縮器で発生した凝縮水ラインであり主流路としない
6	A, B, C, E, F, G	ドレン、ベント、バイパス、オーバーフロー、テスト・バックアップラインであり主流路としない
7	G	非安重の漏えい液回収スチームジェットの配管であり主流路としない
8	G	非定常のラインであり、且つPu/HAW液保持に係らないため、主流路としない
9	H	分析試料採取配管であり主配管としない
10	J	移送機器用の真空系統であり主流路としない
11	L	崩壊熱除去評価対象外の貯槽への安全冷却水供給ラインであり主流路としない
12	G	かくはん空気による水素掃気バックアップラインであり主流路としない
13	個別	Pu/HAW液保持に係らない分析設備のラインであり、主流路としない。
14	個別	Pu/HAW液保持に係らない廃液、硝酸、溶媒等の移送ラインのため主流路としない。
15	個別	Pu/HAW液保持に係らない長期予備系のラインのため主流路としない。
16	個別	放射線レベル計測槽のラインは主流路と設定しない。

*：分類は別紙1-2-6 「設計図書の記載事項に係る留意事項」の 13. 「再処理施設の各設備に共通する主配管にしない対象の考え方」で示す。

